

令和5年度
羽村市教育委員会の権限に属する事務
の管理及び執行の状況の点検及び評価
(令和4年度分) 報告書

令和5年8月

羽村市教育委員会

目 次

1	羽村市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の 状況の点検及び評価の実施について	1
2	羽村市教育委員会教育目標	2
3	事務事業の点検・評価	6
4	点検・評価に関する学識経験者からの意見	49
5	教育委員会の活動の状況	57
	教育委員会の審議事項等	57
	教育委員会委員の主な活動報告	60
	教育委員会学校訪問	62
	資料編	63

1 羽村市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の実施について

(1) 点検・評価の目的

羽村市教育委員会（以下「教育委員会」という。）では、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、課題や取組みの方向性を明らかにすることにより、効果的な教育行政の一層の推進を図る。

また、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表することにより、市民への説明責任を果たし、市民に信頼される教育行政を推進する。

(2) 点検・評価の対象

令和4年度羽村市教育委員会の教育目標に基づく次の4つの基本施策に掲げる主な事務事業を対象とする。

（基本施策1）子どもたちの育成

（基本施策2）地域資源の活用

（基本施策3）多様な学習の展開

（基本施策4）生涯学習の支援

(3) 点検・評価の実施方法

ア 点検・評価は、前年度の教育委員会の主な事務事業の取組状況を総括するとともに、課題や今後の取組みの方向性を示すものとし、毎年1回実施する。

イ 事務事業の進捗状況等を取りまとめ、教育に関し学識経験を有する者の意見を聴取したうえで、教育委員会が点検・評価を行う。

ウ 教育委員会において、点検・評価を行った後、その結果を取りまとめた報告書を羽村市議会へ提出するとともに、その報告書を市民に公表するものとする。

2 羽村市教育委員会教育目標

教育は、人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成を期して行わなければならない。

同時に、教育は、社会の変化に対応して絶えずそのあり方を見直していかなければならないものであり、経済・社会のグローバル化、情報技術革命、地球環境問題、少子高齢化など、時代の変化に主体的に対応し、日本の未来を担う人間を育成する教育が重要になっている。

また、誰もが、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に活かすことのできる社会の実現が図られなければならない。

羽村市教育委員会は、このような考え方に立って、以下の「教育目標」に基づき、積極的に教育行政を推進していく。

教育目標

羽村市教育委員会は、だれもが生涯を通じ、あらゆる場で学び、支え合うことができる生涯学習社会の実現を図る。

また、子どもたちが、知性、感性、道徳心や体力をはぐくみ、人間性豊かに成長することを願うとともに、明日の羽村をつくる能力や態度の育成を目指し、

- ・互いの人格を尊重し、思いやりと規範意識のある人間
- ・社会の一員として、社会に貢献しようとする人間
- ・自ら学び考え行動する、個性と創造力豊かな人間

の育成に向けた教育を推進する。

そして、教育は、学校・家庭・地域のそれぞれが責任を果たし、連携して行わなければならないものであるとの認識に立って、すべての市民が教育に参加することを目指していく。

羽村市教育委員会の基本方針

羽村市教育委員会は、先の「教育目標」を実現するため、次の4つの基本方針を基に、教育施策を実施していく。

基本方針 1

「人権尊重の精神」と「社会貢献の精神」の育成

すべての大人、子どもたちが、人権尊重の理念を正しく理解するとともに、思いやりの心や社会生活の基本的ルールを身に付け、社会に貢献しようとする精神をはぐくむことが求められる。

そのために、人権教育及び心の教育を充実するとともに、権利と義務、自由と責任についての認識を深めさせ、公共心をもち自立した個人を育てる教育を推進する。

基本方針 2

「豊かな個性」と「創造力」の伸長

グローバル化と情報技術革命が進展する中で、国際社会に生き社会の変化に対応できるよう、子どもたち一人ひとりに個別最適化された学びを提供し、思考力、判断力、表現力や学びに向かう力、人間性などの資質・能力を育成することが求められる。

そのために、多様な教育ニーズに配慮し、基礎的な学力の向上を図り、子どもたちの豊かな個性と創造力を伸ばすため、小中一貫教育を柱とした特色ある教育を推進する。

基本方針 3

「市民の教育参画」と「総合的な教育力」の充実

学校・家庭・地域の連携、協力とすべての市民の教育参画を進め、子どもたちの健やかな成長を地域社会全体で支えるとともに、市民の感覚と学校経営の感覚をより重視して、教育行政を力強く展開することが求められる。

そのために、学校・家庭・地域の教育力を高め、その連携が進むよう支援するとともに、市民に信頼される魅力ある学校づくりを支援する。

基本方針 4

「生涯学習」の推進

市民一人ひとりが生涯にわたって学習することができ、その成果を適切に活かすことができる環境を整えることが求められる。

そのために、第二次羽村市生涯学習基本計画に基づき、生涯学習施策の総合的かつ計画的な推進を図る。

令和4年度 教育委員会の主な事務事業

1 子どもたちの育成

子育て関係講座等の充実 <生涯学習推進課>
家庭教育関連情報の提供と啓発 <生涯学習推進課>
小中一貫教育の推進 <学校教育課>
読解力の育成 <学校教育課>
道徳教育の充実 <学校教育課>
健康な体づくりの推進 <学校教育課>
ICT機器を活用した教育の推進 <学校教育課>
コミュニティ・スクール導入に向けた検討 <学校教育課>
特別支援教育推進体制の整備 <教育支援課>
中学校における自閉症・情緒障害特別支援学級の設置・運営 <教育支援課>
教育相談体制の充実 <教育相談室>

2 地域資源の活用

地域における自然体験事業の実施 <生涯学習推進課>
市内事業所等と協力した社会体験事業の実施 <生涯学習推進課>
地域教育シンポジウムの実施 <生涯学習推進課>
人材バンク登録制度の活用 <生涯学習推進課>
図書館ボランティアの育成と支援 <図書館>
学びのきっかけとなる講座の実施 <生涯学習推進課>
学校支援地域本部の活用 <学校教育課>
生涯学習に関する資格等の情報提供 <生涯学習推進課>
企画展の開催 <郷土博物館>
郷土学習のための講座等の実施 <郷土博物館>
文化財に関する情報提供 <郷土博物館>
登録郷土研究員の活用 <郷土博物館>
展示説明員の育成と活用 <郷土博物館>

3 多様な学習の展開

芸術文化の鑑賞機会の提供 <生涯学習推進課>
芸術文化体験事業の提供 <生涯学習推進課>
市ゆかりの芸術家の作品展や演奏会等の実施 <生涯学習推進課>
ゆとりぎ協働事業運営市民の会との協働事業の実施 <生涯学習推進課>
活動成果の発表機会の提供 生涯学習推進課>
子どもの運動能力の向上を促す遊びの提供 <スポーツ推進課>
スポーツ活動の機会の提供 <スポーツ推進課>
指導者の養成と資質の向上支援 <スポーツ推進課>
東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会を契機とした新たなスポーツ
の振興 <スポーツ推進課>
障害者スポーツの普及啓発 <スポーツ推進課>
図書館業務体験事業の実施 <図書館>
読書への意欲を高めるための講座等の実施 <図書館>
読書手帳の活用 <図書館>
図書館資料活用の推進 <図書館>
「家読（うちどく）」事業等の実施 <図書館>
学校と連携した読書活動への支援 <図書館>
国際理解や多文化共生に関する講座等の実施 <生涯学習推進課>
情報化に対応するための講座等の実施 <生涯学習推進課>
高齢者の学習機会の充実と自主グループ活動の支援 <生涯学習推進課>
健康に関する講座等の実施 <スポーツ推進課>
青年学級事業の実施 <生涯学習推進課>

4 生涯学習の支援

文化団体の活動支援 <生涯学習推進課>
スポーツ団体の活動支援 <スポーツ推進課>
団体への補助金の交付 <生涯学習推進課・スポーツ推進課>
団体等の活動情報の収集・提供 <生涯学習推進課>
団体等の情報発信支援 <生涯学習推進課>
生涯学習関連情報の発信 <生涯学習推進課、スポーツ推進課>
生涯学習まちづくり出前講座の活用促進 <生涯学習推進課>
企業、大学、財団等との連携による講座、芸術鑑賞事業等の実施 <生涯学習推進課>
生涯学習コーディネート機能の運用 <生涯学習推進課>
学校施設の維持管理 <生涯学習総務課>

3 事務事業の点検・評価

令和5年度の点検・評価対象事業（令和4年度分）は、令和4年度教育委員会の教育目標に掲げる主な事務事業とする。

方向性1 子どもたちの育成

No.	実施事業名	担当課	評価
1	子育て関係講座等の充実	生涯学習推進課	A
		生涯学習推進課	B
2	家庭教育関連情報の提供と啓発	生涯学習推進課	A
3	小中一貫教育の推進	学校教育課	A
4	読解力の育成	学校教育課	A
5	道徳教育の充実	学校教育課	A
6	健康な体づくりの推進	学校教育課	A
7	ICT機器を活用した教育の推進	学校教育課	A
8	コミュニティ・スクール導入に向けた検討	学校教育課	A
9	特別支援教育推進体制の整備	教育支援課	A
10	中学校における自閉症・情緒障害特別支援学級の設置・運営	教育支援課	A
11	教育相談体制の充実	教育相談室	A

方向性2 地域資源の活用

No.	実施事業名	担当課	評価
12	地域における自然体験事業の実施	生涯学習推進課	—
13	市内事業所等と協力した社会体験事業の実施	生涯学習推進課	A
14	地域教育シンポジウムの実施	生涯学習推進課	—
15	人材バンク登録制度の活用	生涯学習推進課	B
16	図書館ボランティアの育成と支援	図書館	A
17	学びのきっかけとなる講座の実施	生涯学習推進課	A
18	学校支援地域本部の活用	学校教育課	A
19	生涯学習に関係する資格等の情報提供	生涯学習推進課	D
20	企画展の開催	郷土博物館	A
21	郷土学習のための講座等の実施	郷土博物館	A
22	文化財に関する情報提供	郷土博物館	A
23	登録郷土研究員の活用	郷土博物館	C
24	展示説明員の育成と活用	郷土博物館	A

方向性3 多様な学習の展開

No.	実施事業名	担当課	評価
25	芸術文化の鑑賞機会の提供	生涯学習推進課	A
26	芸術文化の体験事業の提供	生涯学習推進課	A
27	市ゆかりの芸術家の作品展や演奏会等の実施	生涯学習推進課	A
28	ゆとりぎ協働事業運営市民の会との協働事業の実施	生涯学習推進課	A
29	活動成果の発表機会の提供	生涯学習推進課	B
30	子供の運動能力の向上を促す遊びの提供	スポーツ推進課	A
31	スポーツ活動の機会の提供	スポーツ推進課	B
32	指導者の養成と資質の向上支援	スポーツ推進課	A
33	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機とした新たなスポーツの振興	スポーツ推進課	A
34	障害者スポーツの普及啓発	スポーツ推進課	A
35	図書館業務体験事業の実施	図書館	A
36	読書への意欲を高めるための講座等の実施	図書館	A
37	読書手帳の活用	図書館	A
38	図書館資料活用の推進	図書館	A
39	「家読（うちどく）」事業等の実施	図書館	C
40	学校と連携した読書活動への支援	図書館	A
41	国際理解や多文化共生に関する講座等の実施	生涯学習推進課	B
42	情報化に対応するための講座等の実施	生涯学習推進課	C
43	高齢者の学習機会の充実と自主グループ活動の支援	生涯学習推進課	B
44	健康に関する講座等の実施	スポーツ推進課	A
45	青年学級事業の実施	生涯学習推進課	A

方向性4 生涯学習の支援

No.	実施事業名	担当課	評価
46	文化団体の活動支援	生涯学習推進課	A
47	スポーツ団体の活動支援	スポーツ推進課	A
48	団体への補助金の交付	生涯学習推進課 スポーツ推進課	A
49	団体等の活動情報の収集・提供	地域振興課 生涯学習推進課	A
50	団体等の情報発信支援	生涯学習推進課	A
51	生涯学習関連情報の発信	生涯学習総務課	A
		生涯学習推進課	A
		スポーツ推進課	B
52	生涯学習まちづくり出前講座の活用促進	生涯学習推進課	B
53	企業、大学、財団等との連携による講座、芸術鑑賞事業等の実施	生涯学習推進課	A
54	生涯学習コーディネート機能の運用	生涯学習推進課	A
55	学校施設の維持管理	生涯学習総務課	A

実施事業

子育て関係講座等の充実

【担当課】生涯学習推進課

【関連課】

令和4年度の 事業内容	○子育て講座の実施 1事業	
目標（指標）	○参加者の満足度 80%以上	
取組実績	○親子でワクワク！リトミック～リズムにのろう、リズムで遊ぼう～ （国立音楽大学連携講座）令和5年2月26日（音楽講座室2）2回/各回定員12組 1回目（2～3歳対象）参加者数10組/申込12組 2回目（4～5歳対象）参加者数8組/申込10組 参加者の満足度94%	
成果・効果	親子で音楽に合わせて体を動かすことで、子供の感覚を磨き、表現力を育むこと、日常生活の中での親子のコミュニケーションの取り方について学ぶ機会を提供した。	
評価（達成度）	評価凡例	
	A	達成度 80%以上
	B	達成度 50%以上80%未満
	C	達成度 30%以上50%未満
	D	達成度 30%未満
課題・対応	2～3歳は募集開始早々に満席となったが、4～5歳は定員に達しなかった。内容やターゲット層を意識しながら講座を継続していく。	

【担当課】生涯学習推進課

【関連課】

令和4年度の 事業内容	○家庭教育セミナーの実施 1回	
目標（指標）	○参加者の満足度 80%以上	
取組実績	○子供の自己肯定感を引き上げる方法（令和5年1月22日/ゆとろぎ小ホール） 定員252人 参加者数130人/申込147人（PTA連合会研修部65人、窓口事前申込53人、当日参加29人） 参加者の満足度 72%	
成果・効果	「親が使う言葉を意識し変えると子供の心は前向きになる」「自信ある子はトライ&エラーにより成功体験を重ね人間力を身につける」といった視点から、家庭での子供への声掛けの仕方について学ぶ機会を提供した。	
評価（達成度）	評価凡例	
	A	達成度 80%以上
	B	達成度 50%以上80%未満
	C	達成度 30%以上50%未満
	D	達成度 30%未満
課題・対応	家庭教育は子供の健全な育成に大きく影響することから、引き続き同様のセミナーを実施し、家庭の教育力の向上を図っていく。	

No.2

実施事業	
家庭教育関連情報の提供と啓発	

【担当課】生涯学習推進課

【関連課】

令和4年度の 事業内容	○就学児健診での「家庭教育ははじめの一歩」の配布 ○市公式サイトでの周知	
目標（指標）	○就学児健診での「家庭教育ははじめの一歩」の配布 全小学校	
取組実績	○就学時健康診断の実施時に保護者に対し冊子を配布した。 10月下旬から11月上旬に計500部を配布 羽村東小学校 90部 羽村西小学校 85部 富士見小学校 75部 栄小学校 65部 松林小学校 50部 小作台小学校 70部 武蔵野小学校 65部	
成果・効果	家庭教育の中で特に大切にしたいポイントをまとめた冊子を保護者に配布し、家庭教育は全ての教育の出発点であること等について情報提供することができた。	
評価（達成度）	A	評価凡例
		A 達成度 80%以上
		B 達成度 50%以上80%未満
		C 達成度 30%以上50%未満
		D 達成度 30%未満
— 未実施		
課題・対応	家庭教育は子供の健全な育成に大きく影響することから、冊子の配布を継続し、情報提供していく。	

No.3

実施事業

小中一貫教育の推進

【担当課】学校教育課

【関連課】

令和4年度 事業内容	これまでの羽村市の小中一貫教育を礎とし、「生きる力」の基礎となる学びの保障と児童・生徒の可能性を引き出す指導を充実するための、義務教育9年間の教科等のカリキュラムを研究・開発する。		
目標（指標）	○第3次羽村市小中一貫教育基本計画の推進		
取組実績	○小中一貫教育カリキュラム等開発委員会の開催（12部会） ○教科等のカリキュラムの研究		
成果・効果	小中一貫教育カリキュラム等開発委員会を設置・開催し、教科（分野）ごとに、義務教育9年間を通じたカリキュラムの在り方等を検討した。		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
—	未実施		
課題・対応	引き続き、小中一貫教育カリキュラム等開発委員会を開催し、策定したカリキュラムについて、授業実践を通じ、更なる改善を図っていく。		

No.4

実施事業

読解力の育成

【担当課】学校教育課

【関連課】

令和4年度 事業内容	問題文や与えられた資料から、必要な情報を読み取る力の育成について、各教科等の授業を中心に、教育活動全体において取り組んでいく。また、情報活用能力の育成と関連させて、必要な情報を問題の解決や探究に活用する力を育成していく。さらに、研究指定校では、「読解力の向上」について実践研究に取り組んでいく。		
目標（指標）	○研究指定校の指定 1校		
取組実績	○研究指定校における実践研究の実施（松林小学校）		
成果・効果	リーディング・スキルテストを活用した読解力の経年分析を行った結果、読解力の向上について確認することができた。		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
—	未実施		
課題・対応	研究冊子を全校に配布するなど、教育活動全体の充実に努めていく。		

実施事業

道徳教育の充実	
---------	--

【担当課】 学校教育課

【関連課】

令和4年度 事業内容	<p>特別の教科である道徳を要として、学校の教育活動全体を通じて道徳教育の充実を図ることで、自己の生き方を考え、主体的な判断のもと、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養う。令和4年度は、小・中学校9年間で児童・生徒に身に付けさせたい資質・能力を、羽村市の実態に応じ、各校のカリキュラム・マネジメントに汎用できるようカリキュラムを作成する。</p>	
目標（指標）	○カリキュラムの作成	
取組実績	羽村市小中一貫カリキュラム等開発委員会＜望ましい習慣の形成部会＞において、発達の段階、場面ごとに身に付けてほしい望ましい習慣をまとめた資料を作成した。	
成果・効果	作成した資料を参考とし、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤づくりにつなげることができる。	
評価（達成度）	A	評価凡例
		A 達成度 80%以上
		B 達成度 50%以上80%未満
		C 達成度 30%以上50%未満
		D 達成度 30%未満 — 未実施
課題・対応	令和4年度に作成した望ましい習慣の形成に関する資料について、学校で活用するとともに家庭や地域に周知し、共有を図っていく。	

実施事業
健康な体づくりの推進

【担当課】 学校教育課

【関連課】

<p>令和4年度 事業内容</p>	<p>体育に関する指導において、生涯にわたって運動やスポーツを豊かに実践していくとともに、現在及び将来の体力の向上を図る実践力の育成を目指し、児童・生徒が自ら進んで運動に親しむ資質・能力を身に付け、心身を鍛えることができるよう、10月の体力月間や日頃の遊びを通じて取り組んでいく。 健康に関する指導において、児童・生徒が身近な生活における健康に関する知識を身に付けることや、必要な情報を自ら収集し、適切な意思決定や行動選択を行い、積極的に健康な生活を実践することのできる資質・能力の育成に取り組んでいく。</p>	
<p>目標（指標）</p>	<p>○全国体力・運動能力、運動習慣等調査における運動やスポーツに対する肯定的意識割合の前年度からの向上 令和3年度 小5 男子90.3% 女子87.5% 中2 男子83.7% 女子73.1%</p>	
<p>取組実績</p>	<p>○全国体力・運動能力、運動習慣等調査における運動やスポーツに対する肯定的意識割合の前年度からの向上 令和4年度 小5 男子94.5%(+4.2ポイント) 女子86.2%(△1.3ポイント) 中2 男子91.7%(+8.0ポイント) 女子80.3%(+7.2ポイント)</p>	
<p>成果・効果</p>	<p>全国体力・運動能力、運動習慣等調査における運動やスポーツに対する肯定的意識割合は、小学校5年生男子及び中学校2年生男子・女子ともに前年度から向上した。</p>	
<p>評価（達成度）</p>	<p>A</p>	<p>評価凡例</p>
		<p>A 達成度 80%以上</p>
		<p>B 達成度 50%以上80%未満</p>
		<p>C 達成度 30%以上50%未満</p>
		<p>D 達成度 30%未満</p>
<p>課題・対応</p>	<p>引き続き、体育及び健康に関する指導を通じて、健康な体づくりを推進していく。</p>	

No.7

実施事業

ICT機器を活用した教育の推進

【担当課】学校教育課

【関連課】

令和4年度 の 内容	1人1台端末などのICT機器を教育活動の様々な場面で活用し、「一人一人の理解度や進度に応じた学び」や「主体的・対話的で深い学び」を充実させることで、多様な子供たちの個別最適化した学習の実現に向けて取り組んでいく。	
目標（指標）	○GIGAスクールサポーターの配置 1人 ○学習支援ドリルの導入	
取組実績	○GIGAスクールサポーターの配置 1人 ○学習支援ドリルの導入	
成果・効果	GIGAスクールサポーターを配置することにより、1人1台端末と小・中学校における校内ネットワークシステムを円滑に運用することができた。 1人1台端末等で利用できる学習支援ドリルを導入することで、一人一人の理解度や進度にあった学びを充実することができた。	
評価（達成度）	A	評価凡例
		A 達成度 80%以上
		B 達成度 50%以上80%未満
		C 達成度 30%以上50%未満
		D 達成度 30%未満
— 未実施		
課題・対応	引き続き、GIGAスクールサポーターの配置や学習支援ドリルの運用などを行い、ICT機器を活用した教育を推進していく。	

No.8

実施事業

コミュニティ・スクール導入に向けた検討

【担当課】学校教育課

【関連課】

令和4年度 の 内容	令和3年度までに調査・研究してきたことをもとに、学校と地域の関係等について現状と課題の洗い出しを行い、実現に向けた検討を継続して行う。検討にあたっては、学校や地域との協議を重ねることとし、関係する団体等の理解や協力を得るなかで導入に向けた準備を進める。	
目標（指標）	○学校や地域との協議の場の設定 ○導入計画の作成	
取組実績	○学校及び地域への説明 ○導入計画の作成 ○羽村市立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則の制定	
成果・効果	学校や地域とコミュニティ・スクールの導入について協議を行い、導入に向けた準備を進めた。また、学校運営協議会の設置等に関する規則を制定し、令和5年4月から、栄小学校及び羽村第一中学校でコミュニティ・スクールを導入することを決定した。	
評価（達成度）	A	評価凡例
		A 達成度 80%以上
		B 達成度 50%以上80%未満
		C 達成度 30%以上50%未満
		D 達成度 30%未満
— 未実施		
課題・対応	栄小学校と羽村第一中学校の取組に対して支援していく。また、令和6年度の全校導入に向け、準備を進めていく。	

No.9

実施事業	
特別支援教育推進体制の整備	

【担当課】教育支援課

【関連課】学校教育課、教育相談室、子育て相談課

令和4年度の内容	全ての学校・学級に特別な指導・支援を必要とする児童・生徒が在籍するとの認識のもと、一人一人の児童・生徒が安心して豊かに学べる教育環境を整備し、特別支援教育体制を充実する。 ○介助員、支援員の配置 ○専門職を活用した就学、転学相談の充実	
目標（指標）	○就学・転学相談者の肯定的な回答 80%以上	
取組実績	○介助員、支援員の適正な配置(実人員:介助員22人、支援員21人) ○令和4年度における就学相談員の就学・転学相談(71件) 相談者のアンケート提出者からの肯定的な回答(96.1%)	
成果・効果	介助員、支援員を各学校に適切に配置し、支援を必要とする児童・生徒が安心して学ぶ環境を整備するとともに、就学・転学相談では就学相談員のきめ細かい聞き取りにより、相談者に寄り添った対応を推進し、相談体制の充実を図ることができた。	
評価（達成度）	A	評価凡例
		A 達成度 80%以上
		B 達成度 50%以上80%未満
		C 達成度 30%以上50%未満
		D 達成度 30%未満
— 未実施		
課題・対応	各学校に介助員、支援員を適切に定数配置していく。 多様化する相談内容に対し、関係機関と連携して適切に対応していく。	

No.10

実施事業	
中学校における自閉症・情緒障害特別支援学級の設置・運営	

【担当課】教育支援課

【関連課】学校教育課、教育相談室、子育て相談課

令和4年度の内容	羽村第三中学校に自閉症・情緒障害特別支援学級を設置し、障害に応じた指導・支援を充実する。	
目標（指標）	○多様な障害特性に応じた支援体制の充実	
取組実績	○令和4年4月、障害に応じた指導・支援を充実するため、羽村第三中学校に自閉症・情緒障害特別支援学級を新たに設置した。	
成果・効果	市内小学校自閉症・情緒障害特別支援学級からの進学の接続が可能となり、特別支援教育推進体制の充実が図られた。	
評価（達成度）	A	評価凡例
		A 達成度 80%以上
		B 達成度 50%以上80%未満
		C 達成度 30%以上50%未満
		D 達成度 30%未満
— 未実施		
課題・対応	特別支援学級教員の特別支援教育に関わる研修の充実を図るとともに、介助員の適切な配置により支援体制を充実していく。	

No.11

実施事業

教育相談体制の充実

【担当課】教育相談室

【関連課】教育支援課、学校教育課、子ども家庭支援センター

令和4年度 の 事業 内 の 内容	全児童・生徒を対象に実施する生活アンケートを教育相談員が分析し、巡回教育相談において活用することで、不登校等の未然防止・早期対応に向けたきめ細やかな教育相談体制を充実させる。		
目標（指標）	○不安や悩みを抱えていると分析した児童・生徒に関する情報の学校への提供		
取組実績	○令和4年7月に全児童・生徒を対象に1人1台端末により「心（こころ）のアンケート」を実施し、教育相談員によるアンケート分析結果を同年8月に学校へ提供した。		
成果・効果	集計内容と各学級のデータ分析結果を学校へ情報提供することにより、各学校における児童・生徒の不登校等の未然防止ときめ細かい指導に活用することができた。		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
—	未実施		
課題・対応	アンケート結果から児童・生徒の傾向を把握し、継続的な見守りと教員相談員による巡回相談とスクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー等を含む関係機関との必要な連携を行っていく。		

No.12

実施事業

地域における自然体験事業の実施

【担当課】生涯学習推進課

【関連課】

令和4年度 の 事業 内 の 内容	○自然体験事業の実施 1事業		
目標（指標）	○定員数の70%以上の参加		
取組実績	「多摩川釣り体験」を実施予定していたが、台風により河川の形状が変わり実施不可能となった。		
成果・効果	なし。		
評価（達成度）	—	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
—	未実施		
課題・対応	今後は自然体験事業を行っている他課の事業との連携について検討していく。		

No.13

実施事業

市内事業所等と協力した社会体験事業の実施

【担当課】生涯学習推進課

【関連課】

令和4年度の 事業内容	○市内事業所等の見学 1事業		
目標（指標）	○定員数の70%以上の参加		
取組実績	○羽村の企業を知るシリーズ 特別篇「生活の中のごみを考える」 ～西多摩衛生組合 環境センター見学会～ 令和4年11月23日 定員30人 ○参加者数28人/申込30人 参加率93% 参加者の満足度85%		
成果・効果	西多摩衛生組合環境センターの役割を知り、環境を守ることの重要性を認識する機会を提供できた。		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
課題・対応	— 未実施		
課題・対応	羽村の企業を知るシリーズは、平成22年度から始まった人気講座でもあることから、市内企業の協力を得ながら継続していく。		

No.14

実施事業

地域教育シンポジウムの実施

【担当課】生涯学習推進課

【関連課】

令和4年度の 事業内容	○地域教育シンポジウムの実施 1回		
目標（指標）	○参加者の満足度 80%以上		
取組実績	「家庭教育のありかたについて考え、家庭（親）の教育力の向上を図る」という地域教育シンポジウムの目的は、家庭教育セミナーと一致するため、地域教育シンポジウムは単体で実施せず、家庭教育セミナーに統合して実施した。		
成果・効果	なし。		
評価（達成度）	—	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
課題・対応	— 未実施		
課題・対応	地域シンポジウムは、家庭教育セミナーと統合し、同セミナーの充実により目的を果たしていく。		

No.15

実施事業

人材バンク登録制度の活用

【担当課】生涯学習推進課

【関連課】

令和4年度の内容	○はむら人ネットガイドの発行 1回		
目標（指標）	○新規登録者 3人 ○人材バンク利用 3件		
取組実績	○全体で23人の人材を登録、うち2人の新規登録を行った。 ○人材バンク利用 1件(問い合わせ)		
成果・効果	学ぶ意欲のある市民に対し、必要な知識、技術等を提供するための人材を周知することができた。		
評価（達成度）	B	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
課題・対応	高齢化やコロナ禍を理由にした登録抹消者が多いことから、「はむらの教育」等で制度について呼びかけ、登録者及び利用者の増加を図っていく。		

No.16

実施事業

図書館ボランティアの育成と支援

【担当課】図書館

【関連課】

令和4年度の内容	○図書館ボランティア事業の実施 ○図書館ボランティア養成講座の実施		
目標（指標）	○図書館ボランティア養成講座受講者数 5人		
取組実績	○本の読み聞かせ、書棚・書庫整理、新聞切抜き、屋上緑化等のボランティア活動への支援 ○図書館ボランティア養成講座の開催 2回 参加者数8人		
成果・効果	図書館との様々な支援・連携によってボランティアのモチベーションを高めることができた。 ボランティア養成講座については、今後の図書館での対面朗読サービスボランティアの登録へつなげることができた。		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
課題・対応	ボランティアと良好な関係を維持するとともに、新たなボランティアの養成にも不断に取り組む必要がある。		

実施事業

学びのきっかけとなる講座の実施

【担当課】生涯学習推進課

【関連課】

令和4年度 事業内容	○初心者講座の実施 4回	
目標（指標）	○参加者の満足度 80%以上	
取組実績	○初心者陶芸教室 6回 定員15人 受講料3,500円（材料費のみ） ○参加者 13人/申込15人 ①11月5日 制作 ②11月6日 制作 ③11月19日 削り ④11月27日 窯詰 ⑤12月10日 釉掛け・窯詰 ⑥12月17日 窯出・合評会 参加者の満足度100%	
成果・効果	初心者講座の終了後、参加者10人による新たな陶芸サークルが立ち上がった。	
評価（達成度）	A	評価凡例
		A 達成度 80%以上
		B 達成度 50%以上80%未満
		C 達成度 30%以上50%未満
		D 達成度 30%未満
課題・対応	初心者講座の実施により、引き続き学びのきっかけの場を市民に提供していく。	

No.18

実施事業

学校支援地域本部の活用

【担当課】学校教育課

【関連課】

令和4年度 事業内容	各中学校区に配置しているコーディネーターを活用し、学校のニーズを把握するとともに、知識や技能を有する地域人材の発掘及び学校との連携に努めるなど、学校と地域が一体となって地域ぐるみで子供を育てる体制の充実を図る。		
目標（指標）	○コーディネーターの配置 中学校区 各1人		
取組実績	○コーディネーターの配置 中学校区 各1人		
成果・効果	各中学校区に配置したコーディネーターが、学校と連携しながら、学校のニーズに沿った地域人材の発掘等を行うことで、学校と地域が一体となって地域ぐるみで子供を育てる体制の充実を図ることができた。		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
課題・対応	— 未実施		
課題・対応	コミュニティ・スクールの導入により、地域学校協働本部(学校支援地域本部)との連携がこれまで以上に重要となる。		

No.19

実施事業

生涯学習に関する資格等の情報提供

【担当課】生涯学習推進課

【関連課】

令和4年度 事業内容	○市公式サイトでの情報発信 ○資格認証制度の相談受付		
目標（指標）	○「はむらの教育」への記事の掲載 2回		
取組実績	資格認定制度に係る情報収集が不十分であったため、記事の掲載に至らなかった。		
成果・効果	なし。		
評価（達成度）	D	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
課題・対応	— 未実施		
課題・対応	資格認定制度に関する資料を収集し、必要な方に情報提供していく。		

No.20

実施事業

企画展の開催

【担当課】郷土博物館

【関連課】

令和4年度 事業内容	○企画展「こいのぼりと五月人形」3月26日(土)～5月15日(日) ○企画展「お伊勢参り(仮)」6月4日(土)～8月21日(日) ○企画展「むかしのくらし」1月4日(水)～1月22日(日) ○企画展「ひな人形展」2月4日(土)～3月5日(日)	
目標(指標)	○郷土博物館入館者数 20,000人	
取組実績	○入館者数27,043人を達成した。 ・「こいのぼりと五月人形展」3月26日(土)～5月15日(日) 入館者数 4,085人 ・「あこがれのお伊勢参り」6月4日(土)～8月21日(日) 入館者数 3,773人 ・「むかしのくらし」1月4日(水)～1月22日(日) 入館者数 1,500人 ・「ひな人形展」2月4日(土)～3月5日(日) 入館者数 2,359人	
成果・効果	計画した事業を実施した結果、コロナ禍以前の入館者数を確保し、羽村の郷土について学ぶ機会を提供することができた。	
評価(達成度)	A	評価凡例
		A 達成度 80%以上
		B 達成度 50%以上80%未満
		C 達成度 30%以上50%未満
		D 達成度 30%未満
— 未実施		
課題・対応	今後も魅力ある展示を企画し、リピーターや新たな来館者の獲得を図っていく。	

No.21

実施事業

郷土学習のための講座等の実施

【担当課】郷土博物館

【関連課】

令和4年度 事業内容	○歴史講座「歴史散歩 玉川上水と羽村取水堰(仮)」11月中1回開催 ○体験学習会「市内小学3年生郷土学習」1月4日(水)～1月22日(日)7校実施 ○体験学習会「まゆ玉かざりをつくろう!」1月8日(日)開催	
目標(指標)	○参加者の満足度 80%以上	
取組実績	○「歴史散歩 玉川上水と羽村取水堰」11月5日(土) 参加者数13人 参加者の満足度92% ○「市内小学3年生郷土学習」1月4日(水)～1月22日(日) 市内小学校7校へ実施。 ○「まゆ玉かざりをつくろう!」1月8日(日) 参加者数10人 参加者の満足度80%	
成果・効果	講座や体験学習を通じて、郷土の歴史や文化を学習する機会を提供できた。	
評価(達成度)	A	評価凡例
		A 達成度 80%以上
		B 達成度 50%以上80%未満
		C 達成度 30%以上50%未満
		D 達成度 30%未満
— 未実施		
課題・対応	参加者からのアンケート結果や意見などをフィードバックし、魅力ある講座を実施していく。	

実施事業

文化財に関する情報提供

【担当課】 郷土博物館

【関連課】

令和4年度 事業内容	○文化財説明板の作成設置 1カ所 ○『羽村市郷土博物館紀要』第37号の発行 1回 ○「東京文化財ウィーク」への参加 ○「多摩郷土誌フェア」への参加 ○郷土博物館公式ツイッターでの情報発信	
目標（指標）	○『紀要』への文化財関係論考の掲載 1本 ○ツイッターフォロワー数 500人	
取組実績	○文化財説明板の作成設置(1カ所) ○「羽村市郷土博物館紀要」第37号の発行 文化財関係論考4本 ○「東京文化財ウィーク」10月29日(土)～11月6日(日)期間中「歴史散歩 玉川上水と羽村取水堰」11月5日(土)を実施 参加者数13人 ○「多摩郷土誌フェア」1月21日(土)、22日(日)へ出展、紀要等の図書を販売 ○ツイッターフォロワー数(3月31日現在) 612人	
成果・効果	計画した事業を実施し、市内文化財に関する情報を発信し、広く周知した。	
評価（達成度）	評価凡例	
	A	達成度 80%以上
	B	達成度 50%以上80%未満
	C	達成度 30%以上50%未満
	D	達成度 30%未満
—	未実施	
課題・対応	既存の広報誌・公式サイトに加え、ツイッターなどの新たな情報発信ツールを活用し、来館者の獲得を図っていく。	

No.23

実施事業

登録郷土研究員の活用

【担当課】郷土博物館

【関連課】

令和4年度 事業内容	郷土博物館登録郷土研究員の専門分野で調査・研究された成果について、歴史講座の講師及び企画展への協力、郷土博物館紀要への論考掲載などにより市民に提供する。また、将来的な市史編さんの担い手となる人材を発掘する。		
目標（指標）	○登録郷土研究員新規登録者 1人以上		
取組実績	○登録郷土研究員の新規登録者数 なし ○「羽村市郷土博物館紀要」第37号の発行		
成果・効果	登録郷土研究員を活用し、博物館紀要へ調査・研究の論考掲載などにより、市民等へ玉川上水や中里介山等に関する情報を発信することができた。		
評価（達成度）	C	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
—	未実施		
課題・対応	引き続き、郷土史を調査・研究している人材や歴史講座講師、紀要の論考掲載ができる人材の発掘に努めていく。		

No.24

実施事業

展示説明員の育成と活用

【担当課】郷土博物館

【関連課】

令和4年度 事業内容	展示説明員の増員を図るため、展示説明員養成講座を実施する。（7月～9月、7回開催） 展示説明員が、社会科見学として来館する都内小学校4年生に対し、玉川上水の歴史と役割について展示説明を行う。		
目標（指標）	○展示説明員養成講座参加者数 10人 ○社会科見学校数 100校		
取組実績	○「展示説明員養成講座」8月6日（土）～9月24日（土）全6回開催 受講者8人 ○社会科見学校数 129校		
成果・効果	受講者全員が、受講内容に基づき展示説明員として都内小学校4年生に対し、玉川上水の歴史と役割について展示説明を行うことができた。		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
—	未実施		
課題・対応	今後も展示説明員の希望者を受け入れ、説明員を安定的に確保していく。また、社会科見学をきっかけとして、新たなリピーターの獲得を図っていく。		

実施事業

芸術文化の鑑賞機会の提供

【担当課】生涯学習推進課

【関連課】

令和4年度の事業内容	○芸術文化の鑑賞事業の実施 18事業 (内2事業はアウトリーチ(体験事業)を含む)	
目標(指標)	○参加者の満足度 80%以上	
取組実績	○19事業(アウトリーチ2事業含む)を実施 (音楽公演 8事業、寄席 2事業、伝統文化事業 2事業、展示 5事業、その他(子ども映画会(年12回)、子どもフェスティバル) 2事業)。 ○参加者の満足度 概ね80%	
成果・効果	音楽公演事業のうち、出演者の新型コロナウイルス感染(出演者罹患)により1事業が中止となったが、文化庁補助の採択によるミュージカル公演及び落語芸術協会による演奏会の2事業を追加実施し、市民に芸術文化の鑑賞の機会を提供できた。	
評価(達成度)	評価凡例	
	A	達成度 80%以上
	B	達成度 50%以上80%未満
	C	達成度 30%以上50%未満
	D	達成度 30%未満
—	未実施	
課題・対応	音楽公演等ホール事業は、満足度による目標達成はできているが、入場者数が少ないことが課題となっており、集客方法について検討していく。	

実施事業

芸術文化の体験事業の提供

【担当課】生涯学習推進課

【関連課】

令和4年度 事業内容	○芸術文化の体験事業の実施 2事業	
目標（指標）	○参加者の満足度 80%以上	
取組実績	○子ども体験塾（子ども国際交流音楽祭）・ウイーン音楽家による指導と共演（アウトリーチ） 令和4年10月11日 羽村第一中学校吹奏楽部45人指導 10月10日 3自治体合唱団10人と共演 ○カルテットスピリタス（音楽活性化事業）・ミニコンサート（アウトリーチ） 令和5年2月9日 社会福祉協議会 2回 2月10日 児童館 2回 参加者の満足度 ・国際交流音楽祭 89% ・コンサート 93%	
成果・効果	プロの音楽家による指導や共演、当館以外の施設でのコンサートの実施により、芸術文化を身近に感じる機会を設けることができました。	
評価（達成度）	評価凡例	
	A	達成度 80%以上
	B	達成度 50%以上80%未満
	C	達成度 30%以上50%未満
	D	達成度 30%未満
—	未実施	
課題・対応	優れた芸術文化に直接触れる機会は、感性や創造性を育む上で重要であることから、体験事業を継続していく。	

No.27

実施事業

市ゆかりの芸術家の作品展や演奏会等の実施

【担当課】生涯学習推進課

【関連課】

令和4年度の事業内容	○作品展 1事業 ○演奏会 1事業	
目標（指標）	○来場者の満足度 80%以上	
取組実績	○作品展：野口裕史鍛金展 令和4年8月31日～9月11日 入廊700人 参加者の満足度92% ○演奏会：大谷恵理架ギターリサイタル 令和4年7月10日 ゆとろぎ大ホール 定員648人 入場者数570人/申込664人 参加者の満足度95%	
成果・効果	羽村市ゆかりの芸術家による演奏会や作品展を開催し、地域の芸術文化の振興を図ることができた。	
評価（達成度）	評価凡例	
	A	達成度 80%以上
	B	達成度 50%以上80%未満
	C	達成度 30%以上50%未満
	D	達成度 30%未満
—	未実施	
課題・対応	羽村市ゆかりの芸術家の活動を紹介することは、地域への愛着や誇り、文化的環境の充実に繋がるため、継続的に事業を実施していく。	

実施事業

ゆとりぎ協働事業運営市民の会との協働事業の実施

【担当課】生涯学習推進課

【関連課】

令和4年度の 事業内容	○ホール事業 7事業 ○展示事業 4事業 ○講座事業 7事業 ○サポートグループ(市民の会)との連携(随時)	
目標(指標)	○参加者・来場者の満足度 80%以上	
取組実績	○市民の会企画事業を実施 16事業(ホール6事業、展示4事業、講座6事業) 参加者の満足度80% ○サポートグループ(市民の会)との連携を実施 ・情報発信(ゆとりぎイベントガイドの発行) 6回 ・レセプションによるホールイベント運営 随時 ・植栽担当による敷地内の植え込み管理 随時	
成果・効果	市民ニーズを取り入れた企画事業(16事業)を実施することができた。	
評価(達成度)	A	
	評価凡例	
	A	達成度 80%以上
	B	達成度 50%以上80%未満
	C	達成度 30%以上50%未満
D	達成度 30%未満	
—	未実施	
課題・対応	市民の会の提案する事業は、市民ニーズを取り込み、市民の知識や新たな価値観の形成に役立つものであることから、今後も市民の会と連携し事業を展開していく。	

実施事業

活動成果の発表機会の提供

【担当課】生涯学習推進課

【関連課】

令和4年度の 事業内容	○文化祭の実施 ○HAMURAメリーリボン演劇祭の実施	
目標（指標）	○参加人数 文化祭・延べ2万人以上、HAMURAメリーリボン演劇祭・延べ400人以上	
取組実績	○文化祭 令和4年10月5日～11月3日（ゆとろぎ全館） 来場者数 延べ11,935人（参考：令和元年 来場者21,416人） ○HAMURAメリーリボン演劇祭 令和4年7月16日・17日（ゆとろぎ小ホール） 来場者数 延べ1,431人（参考：令和元年 来場者851人）	
成果・効果	HAMURAメリーリボン演劇祭、文化祭の実施により、市民のサークル活動や学習活動の成果発表の機会を提供することができた。	
評価（達成度）	評価凡例	
	A	達成度 80%以上
	B	達成度 50%以上80%未満
	C	達成度 30%以上50%未満
	D	達成度 30%未満
課題・対応	参加団体が主体的に活動できるよう支援していく。	

実施事業

子供の運動能力の向上を促す遊びの提供

【担当課】スポーツ推進課

【関連課】子育て相談課

令和4年度の内容	○児童館において子供の運動能力の向上を促す遊びの機会の充実		
目標（指標）	児童館派遣事業(スポーツの日) 3回		
取組実績	○児童館派遣事業(東児童館スポーツの日) 3回実施 令和4年9月21日:ポッチャ 11月16日:ラダーゲッター 令和5年1月11日:ラインナップ 参加者数1回あたり15人程度		
成果・効果	指導員(スポーツ推進委員)を東児童館に派遣し、子供の運動能力の向上を促す機会を提供することができた。		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
—	未実施		
課題・対応	事業内容の改善を図りながら、継続して実施していく。		

実施事業

スポーツ活動の機会の提供

【担当課】スポーツ推進課

【関連課】

令和4年度 事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ○市民体育祭の実施 ○総合体育大会の実施 ○ふれあい綱引き大会の実施 ○駅伝大会の実施 ○フィールドゴルフ大会の実施 ○四季のウォークの実施 ○走り方教室の実施 ○歩き方教室の実施 ○トレーニングルームプログラムの充実 													
目 標 (指 標)	<ul style="list-style-type: none"> ○市民体育祭の実施 1回 ○総合体育大会の実施 1回 ○ふれあい綱引き大会の実施 1回 ○駅伝大会の実施 1回 ○フィールドゴルフ大会の実施 2回 ○四季のウォークの実施 2回 ○走り方教室の実施 2教室 ○歩き方教室の実施 1回 ○スポーツセンター開館日数 312日 													
取 組 実 績	<ul style="list-style-type: none"> ○市民体育祭 新型コロナウイルス感染症対策のため中止 ○総合体育大会 令和4年6月～令和5年3月 19種目 参加者数3,959人(全競技合計) ○ふれあい綱引き大会 新型コロナウイルス感染症対策のため中止 ○駅伝大会 1回実施 令和5年3月12日 参加者数492人(81チーム) ○フィールドゴルフ大会 2回実施 令和4年5月28日 参加者数35人 10月22日 参加者数36人 ○四季のウォーク 雨天のため2回とも中止 ○走り方教室 6教室実施 令和4年5月14日 参加者数149人(4教室合計) 9月3日 参加者数50人(2教室合計) ○歩き方教室 1回(2日間)実施 令和5年2月18日・25日 参加者数延べ21人 ○スポーツセンター開館日数 312日(トレーニングルーム利用者数延べ24,395人) 													
成 果 ・ 効 果	<p>中止となったイベントもあったが、市民が気軽に参加できるよう各種イベントを開催したことにより、スポーツ活動の機会を提供することができた。</p>													
評 価 (達 成 度)	<p style="font-size: 2em; font-weight: bold;">B</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">評価凡例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">A</td> <td>達成度 80%以上</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">B</td> <td>達成度 50%以上80%未満</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">C</td> <td>達成度 30%以上50%未満</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">D</td> <td>達成度 30%未満</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">—</td> <td>未実施</td> </tr> </tbody> </table>	評価凡例		A	達成度 80%以上	B	達成度 50%以上80%未満	C	達成度 30%以上50%未満	D	達成度 30%未満	—	未実施
評価凡例														
A	達成度 80%以上													
B	達成度 50%以上80%未満													
C	達成度 30%以上50%未満													
D	達成度 30%未満													
—	未実施													
課 題 ・ 対 応	<p>より多くの市民がスポーツに触れ合える機会を創出できるように事業内容の改善を図りながら、継続して実施していく。</p>													

No.32

実施事業

指導者の養成と資質の向上支援

【担当課】スポーツ推進課

【関連課】

令和4年度の 事業内容	○スポーツリーダー養成講習会の実施 ○熱中症予防講習会の実施		
目標（指標）	○スポーツリーダー養成講習会の実施 1回 ○熱中症予防講習会の実施 1回		
取組実績	○スポーツリーダー養成講習会 1回(3日間)実施 令和5年1月7日・14日・21日 参加者数延べ196人 ○熱中症対策講習会 1回実施 令和4年5月7日 参加者数28人		
成果・効果	スポーツ指導に関する専門意識を習得するための講習会を開催したことにより、スポーツ団体の指導者の「養成」と「資質向上」を支援することができた。		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
—	未実施		
課題・対応	事業内容の改善を図りながら、継続して実施していく。		

No.33

実施事業

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機とした新たなスポーツの振興

【担当課】スポーツ推進課

【関連課】

令和4年度の 事業内容	○オリンピック種目教室の実施		
目標（指標）	○オリンピック種目教室の実施 1回		
取組実績	○オリンピック種目教室 2教室実施 令和4年10月29日 参加者数36人(2教室合計)		
成果・効果	東京2020大会のレガシーを継承できるようオリンピック競技種目「ブレイクダンス」の体験教室を開催したことにより、東京2020大会を契機とした新たなスポーツの振興を図ることができた。		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
—	未実施		
課題・対応	事業内容の改善を図りながら、継続して実施していく。		

実施事業

障害者スポーツの普及啓発

【担当課】スポーツ推進課

【関連課】障害福祉課

令和4年度 事業内容	○障害者スポーツ教室の実施 ○ボッチャ体験教室・ボッチャはむら大会の実施 ○障害者スポーツ指導者の養成	
目標（指標）	○障害者スポーツ教室の実施 1種目 ○ボッチャ体験教室の実施 1回 ○ボッチャはむら大会の開催 1回 ○スポーツ推進委員協議会の研修会の実施 1回	
取組実績	○障害者スポーツ教室 2教室実施 令和4年12月10日 参加者数38人(2教室合計) ○ボッチャ体験教室 2教室実施 令和4年11月13日・27日 参加者数31人(2教室合計) ○ボッチャはむら大会 1回開催 令和4年12月17日 参加者数46人(12チーム) ○スポーツ推進委員協議会の研修会 ボッチャ実技研修1回実施 令和4年6月4日 対象者数18人(スポーツ推進委員全員)	
成果・効果	障害者スポーツ教室はパラリンピック競技種目体験教室「シッティングバレーボール体験教室」として、また、ボッチャ体験教室も同競技種目体験教室の一つとして開催した。さらに、ボッチャはむら大会を開催し、スポーツ推進委員へのボッチャ実技研修を実施したことにより、東京2020大会を契機とした障害者スポーツの普及啓発を図るとともに、障害者スポーツの指導者等の育成・充実を図ることができた。	
評価（達成度）	A	評価凡例
		A 達成度 80%以上
		B 達成度 50%以上80%未満
		C 達成度 30%以上50%未満
		D 達成度 30%未満
— 未実施		
課題・対応	事業内容の改善を図りながら、継続して実施していく。	

No.35

実施事業

図書館業務体験事業の実施

【担当課】図書館

【関連課】

令和4年度の 事業内容	○1日司書体験の実施 小学校高学年対象 ○YAボランティア体験の実施 中学生・高校生対象		
目標（指標）	○体験事業の参加者合計 7人		
取組実績	○夏休み司書体験を実施 1回 参加者数7人 ○YAボランティア体験を実施 参加者数9人(中学生9人)		
成果・効果	司書体験、YAボランティアとも短い時間であったが、本の貸出、返却、選書、書架整理など司書業務の一端を体験することによって、図書館で働く人への理解を深めることができた。		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
—	未実施		
課題・対応	体験参加者を増やすことで、図書館の理解者・利用者を増やしていく必要がある。		

No.36

実施事業

読書への意欲を高めるための講座等の実施

【担当課】図書館

【関連課】

令和4年度の 事業内容	○絵本関連講座の実施 1回(2~3回シリーズ) ○児童文学講演会の実施 1回		
目標（指標）	○参加者の満足度 80%以上		
取組実績	○絵本関連講座 手づくり紙芝居 16人参加(うち親子4組)(満足度100%) ○児童文学講演会 どいかわ氏講演会 1回 66人(定員)参加(満足度98%)		
成果・効果	世界に一つの紙芝居を手作りし親子で共有することで、書籍に対する興味を醸成することができ、読書へのきっかけ作りができた。 著名な絵本作家を講師に招いたことで、受付早々に定員を超過した。		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
—	未実施		
課題・対応	絵本関連講座に関しては、引き続き読書への入り口となる内容を検討し実施していく。 児童文学講演会に関しては、今後も引き続き著名絵本作家の招聘に努めていく。		

実施事業

読書手帳の活用

【担当課】図書館

【関連課】

令和4年度 の 事業 内容	○読書手帳・よむちよの活用 ・読書手帳の配布 小・中学校の新1年生に配布 ・読書手帳表彰	
目標（指標）	○読書手帳表彰者数 8人	
取組実績	○読書手帳配冊数 ・小学1年生 699冊（うち新1年生分 529冊） ・中学1年生 838冊（うち新1年生分 478冊） ・羽村高校 30冊 ・一般 93冊 ○読書手帳表彰者 14人	
成果・効果	読書手帳への記録がモチベーションとなって、読書活動の習慣化が図られた。その結果、読書手帳表彰者の増加傾向が続き、令和4年度においては、中学生・高校生の受賞者が初めて5人誕生した。	
評価（達成度）	評価凡例	
	A	達成度 80%以上
	B	達成度 50%以上80%未満
	C	達成度 30%以上50%未満
	D	達成度 30%未満
—	未実施	
課題・対応	読書手帳の活用は、個人の読書意欲を後押しすることから、引き続き事業を継続することで、市民の読書活動につなげていく。	

実施事業

図書館資料活用の推進

【担当課】図書館

【関連課】

令和4年度 事業内容	○図書紹介ポップ展示の実施 ○調べ学習のための図書の貸出などの支援 ○市図書館ウェブサイト及びメールマガジンによる読書情報の充実 ○読書啓発パンフレット(ブックリスト)等の発行	
目標(指標)	○メールマガジンの発信回数 50回	
取組実績	○図書紹介ポップ展示 1回 ○学校等への図書の貸出 35回 1,005冊 ○メールマガジンの発信回数(毎週金曜日) 50回(登録者数128人) ○「月刊NewBook」の発行 12回 ○「みどりのまど」(児童向け図書紹介パンフレット) 2回 ○「ヤングスクラッチ」(YA向け図書紹介パンフレット) 2回	
成果・効果	○図書紹介ポップは、「夏のYAボランティア体験」参加者が作成したものを展示することにより、体験の成果を発表することで図書館と利用者との距離感を縮めることができた。 ○学校等への図書の貸し出しについては、調べ学習等の授業に役立てることができた。 ○メールマガジンは、旬な情報をいち早く発信することで、図書館利用者の利便を図ることができた。 ○「月刊NewBook」「みどりのまど」「ヤングスクラッチ」は、必要な情報を必要な方へ届けることができた。	
評価(達成度)	A	評価凡例
		A 達成度 80%以上
		B 達成度 50%以上80%未満
		C 達成度 30%以上50%未満
		D 達成度 30%未満
課題・対応	読書への意欲を高め、市民の学びのニーズに応えるため、今後も幅広い分野からの図書館資料の収集に努め、効果的な情報発信により、図書館資料の利活用を推進する必要がある。	

実施事業

「家読(うちどく)」事業等の実施

【担当課】 図書館

【関連課】 子育て相談課

令和4年度の 事業内容	○「家読(うちどく)」の推進 ○ブックスタート事業の実施(絵本の配布・啓発、セカンドブックスタート(啓発))	
目標(指標)	○家読(うちどく)啓発パンフレットの作成・配布 100部	
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ○家読(うちどく)(令和4年9月スタート) <ul style="list-style-type: none"> ・司書の選書によりパッケージ化 3冊9セット(貸出実績 延べ9セット) ・誰もが気軽に手に取ることができるよう展示 通年 ・家読の概要と利用方法を示したパンフレットの配布 30部 ○ブックスタート <ul style="list-style-type: none"> ・絵本及び啓発のためのパンフレットの配布(3・4ヶ月検診時) ・絵本配布 233冊 ○セカンドブックスタート <ul style="list-style-type: none"> ・啓発パンフレットの作成 	
成果・効果	家庭における良好な読書環境について、保護者に対し啓発することができた。	
評価(達成度)	評価凡例	
	C	A 達成度 80%以上
		B 達成度 50%以上80%未満
		C 達成度 30%以上50%未満
		D 達成度 30%未満
— 未実施		
課題・対応	<p>一連のブックスタート事業に関しては、読書の習慣化に有効であるため、今後も継続して実施していく。家読(うちどく)に関しては、図書館コンシェルジュを活用し、利用の促進を図っていく。</p> <p>セカンドブックスタートの啓発パンフレットについては、令和5年度から幼稚園・保育園の3歳児を対象に配布していく。</p>	

実施事業

学校と連携した読書活動への支援

【担当課】図書館

【関連課】学校教育課

令和4年度の 事業内容	○学校おはなし会やブックトーク等の実施 ○学校図書館システムを活用した情報連携		
目標（指標）	○おはなし会などでの学校への出張回数 20回		
取組実績	○学校おはなし会の実施 77回、ブックトークの実施 4回、計81回 ○学校図書館システムで市図書館の本をかりられる試行実験実施（羽村一中）		
成果・効果	学校でのお話し会及びブックトークは、学校での朝読書と合わせて小中学生への読書活動へのきっかけ作りとなった。試行的に実施した学校図書館システムを利用した図書館資料の貸出については、今後の学校図書館とのシステム連携を図る上で参考となった。		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
—	未実施		
課題・対応	児童・生徒の読書活動の充実のため、図書館システムと学校図書館システムの一層の連携を検討し、図書館司書と学校図書館司書の連携を深めていく必要がある。		

実施事業

国際理解や多文化共生に関する講座等の実施

【担当課】生涯学習推進課

【関連課】

令和4年度の 事業内容	○国際理解講座 1事業 ○交流事業 1事業	
目標（指標）	○参加者の満足度 80%以上	
取組実績	○国際理解講座・エリザベス女王とイギリスの文化歴史 令和5年2月19日 講座室1・定員48人 参加者数38人/申込48人 参加者の満足度77% ○交流事業・子ども国際交流音楽祭の開催(ウイーン音楽家による指導と共演) 羽村第一中学校 吹奏楽部45人への指導 (令和4年10月11日 同中学校) 羽村市・奥多摩町・檜原村児童による合唱団10人との共演 (令和4年10月10日 ゆとろぎ大ホール)	
成果・効果	両事業の実施により市民の国際理解に寄与できた。	
評価（達成度）	B	評価凡例
		A 達成度 80%以上
		B 達成度 50%以上80%未満
		C 達成度 30%以上50%未満
		D 達成度 30%未満
課題・対応	国際交流音楽祭は参加者が減少しているため、内容等について検討していく。	

No.42

実施事業

情報化に対応するための講座等の実施

【担当課】生涯学習推進課

【関連課】

令和4年度の内容	○情報化に関する講座の実施 1事業	
目標（指標）	○定員数の70%以上の参加	
取組実績	○先端テクノロジー講座「驚くべき携帯電話の進化…モバイル通信の歩みと5G」 令和4年9月24日 講座室1 定員50人 参加者数29人/申込50人 参加率58% 参加者の満足度(理解度)36%	
成果・効果	内容が高度であり、期待した効果が得られなかった。	
評価（達成度）	C	評価凡例
		A 達成度 80%以上
		B 達成度 50%以上80%未満
		C 達成度 30%以上50%未満
		D 達成度 30%未満
— 未実施		
課題・対応	講師と調整しながら、分かりやすい講座内容を検討していく。	

No.43

実施事業

高齢者の学習機会の充実と自主グループ活動の支援

【担当課】生涯学習推進課

【関連課】

令和4年度の内容	○中高年向け講座の実施 3事業	
目標（指標）	○参加者の満足度 80%以上	
取組実績	○先端テクノロジー講座「驚くべき携帯電話の進化…モバイル通信の歩みと5G」 参加者の満足度36% ○文学講座「日本の近代文学 女性作家 樋口一葉」 参加者の満足度95% ○学習文化講座(初心者講座)「初心者陶芸教室」を実施 参加者の満足度100%	
成果・効果	日本の近代文学講座及び初心者陶芸教室は、高い満足度を得たが、先端テクノロジー講座は、高度な内容となつてしまい、満足度が低かった。	
評価（達成度）	B	評価凡例
		A 達成度 80%以上
		B 達成度 50%以上80%未満
		C 達成度 30%以上50%未満
		D 達成度 30%未満
— 未実施		
課題・対応	市民ニーズを捉えた企画をするともに、分かりやすい講座内容を検討していく。	

実施事業

健康に関する講座等の実施

【担当課】スポーツ推進課

【関連課】健康課

令和4年度の 事業内容	○体力測定の実施 ○健康づくり教室の実施		
目標（指標）	○体力測定の実施 4回 ○健康づくり教室の実施 1回		
取組実績	○体力測定 4回実施 令和4年6月11日 参加者数18人 8月20日 参加者数18人 12月17日 参加者数15人 令和5年2月4日 参加者数18人 ○健康づくり教室 1回(8日間)実施 令和4年11月4日～12月23日 参加者数18人(延べ128人)		
成果・効果	市民に対して、健康に関する学習機会等を提供することができた。		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
課題・対応	事業内容の改善を図りながら、継続して実施していく。		

実施事業

青年学級事業の実施

【担当課】生涯学習推進課

【関連課】

令和4年度の 事業内容	○青年学級の実施 12回(障害者の生涯学習の支援)	
目標(指標)	○登録会員の50%以上の参加(各回) ※現会員11人	
取組実績	○月1回開校 参加者数延べ80人 4月・開級式/公園散策 5月・農業体験 6月・レクリエーション 7月・農業体験 8月・創作活動 9月・ボーリング大会 10月・農業体験/芋ほり 11月・遠足/動物公園 12月・フォークダンス 1月・リトミック 2月・レクリエーション 3月・ゲーム/閉校式	
成果・効果	障害者の生涯学習の支援としてレクリエーション等の場を提供することができた。	
評価(達成度)	A	評価凡例
		A 達成度 80%以上
		B 達成度 50%以上80%未満
		C 達成度 30%以上50%未満
		D 達成度 30%未満
課題・対応	登録者が減少傾向にあり、高齢化も進んでいることから、今後、事業内容について検討していく必要がある。	

No.46

実施事業

文化団体の活動支援

【担当課】生涯学習推進課

【関連課】

令和4年度 事業内容	○羽村市文化協会の活動支援 ○ゆとりぎ協働事業運営市民の会の活動支援 ○社会教育関係団体、その他の文化団体の活動支援		
目標（指標）	○生涯学習センターゆとりぎ開館日数 312日		
取組実績	○開館日数 312日 ○施設利用者の安全確保のための事業を実施（避難訓練コンサートの実施） ○施設維持管理（定期保守点検と修繕） ○施設改修の準備（令和9年度の設備改修準備）		
成果・効果	施設の安全点検・維持管理等により活動の場を提供し、文化団体の活動を支援した。		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
課題・対応	事業内容の改善を図りながら、継続して実施していく。		

No.47

実施事業

スポーツ団体の活動支援

【担当課】スポーツ推進課

【関連課】

令和4年度 事業内容	○羽村市体育協会の活動支援 ○はむら総合型スポーツクラブはむすぼの活動支援 ○社会教育関係団体、その他のスポーツ団体の活動支援		
目標（指標）	○スポーツセンター開館日数 312日		
取組実績	○開館日数 312日 ○施設利用に関する活動支援		
成果・効果	施設使用料の減免や施設使用の優先受付を行い、安価で安心して活動できる場所を提供することにより、団体活動を支援することができた。		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
課題・対応	事業内容の改善を図りながら、継続して支援していく。		

実施事業

団体への補助金の交付

【担当課】生涯学習推進課、スポーツ推進課

【関連課】

令和4年度の 事業内容	○社会教育関係団体への補助金の交付 ○羽村市文化協会への補助金の交付 ○羽村市体育協会への補助金の交付	
目標（指標）	○社会教育関係団体への補助金の交付 ○羽村市文化協会への補助金の交付 ○羽村市体育協会への補助金の交付	
取組実績	○社会教育関係団体への補助金の交付 ・文化・学習団体 4団体 交付額80,000円(4団体合計) ・スポーツ・レクリエーション団体 10団体 交付額200,000円(10団体合計) ○羽村市文化協会への補助金の交付 交付額570,000円 ○羽村市体育協会への補助金の交付 交付額750,000円	
成果・効果	補助金を交付することにより、財政面から団体の活動を支援することができた。	
評価（達成度）	A	評価凡例
		A 達成度 80%以上
		B 達成度 50%以上80%未満
		C 達成度 30%以上50%未満
		D 達成度 30%未満
— 未実施		
課題・対応	引き続き、継続して支援していく。	

No.49

実施事業

団体等の活動情報の収集・提供

【担当課】地域振興課、生涯学習推進課

【関連課】スポーツ推進課

令和4年度 事業内容	○市民活動団体ガイド、団体・サークルガイドの発行(年1回)・配布		
目標(指標)	○市内公共機関等150部配布		
取組実績	市民活動団体ガイド(149団体登録)、団体・サークルガイド(164団体登録)を発行(年1回)し、生涯学習推進課(生涯学習センターゆとろぎ)、地域振興課、市役所1階総合案内、生涯学習総務課、スポーツセンター、図書館、コミュニティセンターなど市内公共施設で配布を行うとともに、同じ内容を市公式サイトでも公開した。		
成果・効果	気軽に団体等の活動に参加できるよう、各団体の情報を発信できた。		
評価(達成度)	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
課題・対応	見やすい、探しやすいガイドとなるよう、レイアウトや目次等、ガイドブックの改善について検討し、今後も情報発信を継続して実施していく。		

No.50

実施事業

団体等の情報発信支援

【担当課】生涯学習推進課

【関連課】

令和4年度 事業内容	○学習文化情報コーナーの運用		
目標(指標)	○生涯学習センターゆとろぎ開館日数 312日		
取組実績	○開館日数 312日 ○関係団体における、活動情報や会員募集等のチラシやポスターを掲示した。 年間利用受付件数 180件		
成果・効果	ゆとろぎ館内の学習文化情報コーナーを運用し、各団体の情報の発信を支援することができた。		
評価(達成度)	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
課題・対応	学習文化情報コーナーの運用を継続し各団体の情報発信を支援していく。		

実施事業

生涯学習関連情報の発信

【担当課】生涯学習総務課

【関連課】

令和4年度の 事業内容	○「はむらの教育」の発行		
目標（指標）	○6回発行		
取組実績	○年6回、奇数月1日に発行し、市内全戸に配布した。 発行部数 計26,370部 ○掲載内容の充実を図ることを目的として、市民からの意見を募集した。（9月1日号）		
成果・効果	○羽村市の学校教育及び生涯学習に関する情報を、市民に向けて定期的に発信することができた。		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
—	未実施		
課題・対応	学校教育や生涯学習等に関する情報を広く市民に向けて発信し、学校教育への理解を深めるとともに、生涯学習等の文化芸術活動の普及啓発等を図るため、写真、作品や資料等を効果的に掲載し、見やすく読みやすい紙面づくりに努めていく。		

【担当課】生涯学習推進課

【関連課】

令和4年度の 事業内容	○ゆとりぎイベントガイド発行 ○はむらまなび便り発行 ○ゆとりぎホームページの更新（随時）		
目標（指標）	○ゆとりぎイベントガイド 6回発行 ○はむらまなび便り 4回発行		
取組実績	○ゆとりぎイベントガイド 6回発行 ○はむらまなび便り 4回発行 ○ゆとりぎホームページの更新（随時） ○ゆとりぎ公式SNSを開始（twitter、instagram）		
成果・効果	各種媒体を活用し、生涯学習関連情報の発信を行うことができた。		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
—	未実施		
課題・対応	幅広い世代に来館してもらえるよう、情報発信の方法について検討していく。		

【担当課】スポーツ推進課

【関連課】

令和4年度の 事業内容	○羽村市スポーツ推進委員だよりの発行		
目標（指標）	○2回発行		
取組実績	○1回発行 新型コロナウイルス感染症対策により、令和3年度に町内会回覧が当面休止となり、また、イベント中止に伴い活動が少なくなったことから、発行を休止し、代わりに「はむらの教育」に記事を掲載する形での発信を令和4年度前半まで続けたため、1回のみ発行となった。		
成果・効果	新型コロナウイルス感染症の影響により、1回のみ発行となったが、市民にスポーツ推進委員の活動等についての情報を発信することができた。		
評価（達成度）	B	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
—	未実施		
課題・対応	年2回の発行を実施していく。		

No.52

実施事業

生涯学習まちづくり出前講座の活用促進	
--------------------	--

【担当課】生涯学習推進課

【関連課】

令和4年度の 事業内容	○出前講座メニューを掲載した案内の発行 1回 ○「はむらの教育」への紹介記事掲載 1回		
目標（指標）	○出前講座の利用回数 12回		
取組実績	○出前講座の利用回数 9回 市や関係機関の制度や取組に理解を得るため、職員を市民主催の学習会等に派遣し、専門知識を活かした講演を実施した。		
成果・効果	市民ニーズに即した出前講座の実施により、市民に対して学習会等の場を提供することができた。		
評価（達成度）	B	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
—	未実施		
課題・対応	引き続き、出前講座を活用してもらえよう市民に情報発信していく。		

No.53

実施事業

企業、大学、財団等との連携による講座、芸術鑑賞事業等の実施

【担当課】生涯学習推進課

【関連課】

令和4年度の 事業内容	○杏林大学、国立音楽大学、武蔵野美術大学、財団、企業との連携事業の実施	
目標（指標）	○10事業以上実施	
取組実績	○連携事業の実施 計16事業 杏林大学 3事業、国立音楽大学 3事業、武蔵野美術大学 1事業、財団 6事業、公益社団法人 2事業、市内企業 1事業	
成果・効果	大学、財団、企業等との連携により、専門性の高い学習講座や、質の高い技術・技能に裏打ちされた展示、コンサートや伝統芸能等の公演を実施できた。	
評価（達成度）	A	評価凡例
		A 達成度 80%以上
		B 達成度 50%以上80%未満
		C 達成度 30%以上50%未満
		D 達成度 30%未満
— 未実施		
課題・対応	各大学、財団、企業等との連携により質の高い講座、芸術鑑賞事業を実施していく。	

No.54

実施事業

生涯学習コーディネーター機能の運用

【担当課】生涯学習推進課

【関連課】

令和4年度の 事業内容	○生涯学習に関する相談の対応（コーディネーター） ○生涯学習コーディネーターに関する情報収集・提供	
目標（指標）	相談への対応	
取組実績	生涯学習コーディネーターの配置により、事業の企画・立案や、大学や企業等との連絡・調整等、実態に即した対応をした。	
成果・効果	大学や企業の生涯学習事業（社会貢献事業）に関する情報を収集し、事業の企画・立案につなげ、質の高い講座を実施することができた。	
評価（達成度）	A	評価凡例
		A 達成度 80%以上
		B 達成度 50%以上80%未満
		C 達成度 30%以上50%未満
		D 達成度 30%未満
— 未実施		
課題・対応	引き続き、生涯学習コーディネーターによる情報収集や相談対応を継続していく。	

実施事業

学校施設の維持管理

【担当課】生涯学習総務課

【関連課】建築課

令和4年度の事業内容	○羽村市学校施設長寿命化計画の推進 ・武蔵野小学校体育館改修工事 ・羽村西小学校屋上防水改修工事 ・富士見小学校屋上防水及び外壁改修工事 ・富士見小学校体育館屋上防水工事 ・羽村第三中学校バックネット改修工事	
目標（指標）	学校施設の適正な維持管理のため、改修等工事を実施	
取組実績	・武蔵野小学校体育館改修工事 武蔵野小学校の体育館床及び屋上防水工事、外壁改修工事、一部内装の改修工事を実施した。 ・羽村西小学校屋上防水改修工事 羽村西小学校の校舎の屋上防水工事を実施した。 ・富士見小学校屋上防水及び外壁改修工事 富士見小学校の校舎の屋上防水工事及び外壁改修工事を実施した。 ・富士見小学校体育館屋上防水工事 富士見小学校の体育館の屋上防水工事を実施した。 ・羽村第三中学校バックネット改修工事 羽村第三中学校の校庭バックネットの改修工事を実施した。	
成果・効果	学校施設の改修工事を実施することで、児童・生徒の教育環境の改善を図ることができた。	
評価（達成度）	評価凡例	
	A	達成度 80%以上
		達成度 50%以上80%未満
		達成度 30%以上50%未満
		達成度 30%未満
	—	未実施
課題・対応	小・中学校全校は、老朽化が進行していることから、今後も国庫補助金や東京都補助金といった特定財源を活用した計画的な改修により学校施設の環境改善を図り、適正な維持管理に努めていく。	

4 点検・評価に関する学識経験者からの意見

相原 雄三 (明星大学教育学部教育学科 特任教授)

今回の羽村市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の対象となる事業は、令和4年度において実施された55の主な事務事業です。これらの事務事業は、これまでと同様に羽村市教育委員会の教育目標の実現を図るために定められた4つの基本方針に則り、事務事業を4つの方向性に分類して策定・実施されています。

まず、以下に、4つの方向性ごとに実施されたいくつかの事業について意見を述べます。

1 子どもたちの育成

No. 1 子育て関係講座等の充実（家庭教育セミナーの実施）

かねてより、青少年の自己肯定感をどのようにして高めていくかということは、家庭教育、学校教育、社会教育における課題です。そのため、子供の教育の第一義的責任がある家庭を対象に、「子供の自己肯定感を引き上げる方法」をテーマにしたセミナーを開催したことは大変意義あることです。今後も、同様のテーマを設定して、家庭への啓発を図っていくことを期待しています。

令和4年度の取組実績では、定員252人のところ参加申込者数が147人、参加者数は130人であったことから、参加申込者をどのように増やしていくかという取組が求められると考えます。例えば、「子育て講座」や「就学時健診」などの取組とも連携して本セミナーの周知・案内をするなど、幼児期から学童期の子供をもつ家庭の参加について啓発を図る取組の工夫を考えていただきたいと思います。

No. 2 家庭教育関連情報の提供と啓発（就学時健診での「家庭教育はじめの一步」の配布、市公式サイトでの周知）

家庭教育のポイントをまとめた冊子を各小学校で行われる「就学時健診」のときに配布することは、義務教育就学前に、家庭教育が全ての教育の出発点であることについて改めて保護者に意識啓発を図るためにも重要なことです。この冊子をハンドブックとして、常に携帯して「いつでも、どこでも活用できる」ような機能性をもたせるために、例えば、冊子に二次元コードを付けて端末を使ってダウンロードできるようにするなどの工夫を考えていただきたいと思います。

No. 3 小中一貫教育の推進（義務教育9年間の教科等のカリキュラムの研究・開発）

2020年（令和2年度）～2024年（令和6年度）までを計画期間とした『第3次羽村市小中一貫教育基本計画』を踏まえ、令和4年度に、教科(分野)ごとの「小中一貫教育カリキュラム等開発委員会」（12部会）を設置・開催し、児童・生徒の可能性を引き出す指導を充実させるためのカリキュラム開発に着手したことは、小中一貫教育を授業レベルで具体的に実現させるために大変意義のある取組です。また、評価(達成度)がA評価であることから、各部会とも計画的に取り組むことができたかと推察されます。

今後は、羽村市教育研究会とも連携を図り、開発されたカリキュラム等を授業実践するなかで、その内容の検証・改善を図るとともに、教員の指導力向上につなげていくような取組を期待します。

No. 4 読解力の育成（「読解力の向上」の実践研究）

今次の学習指導要領は、児童・生徒に「資質・能力」を育成することを重視して改訂が行われました。その趣旨を踏まえて、読解力の育成を重視するとともに、情報活用能力の育成と関連させて、必要な情報を問題の解決や探究に活用する力を育成していくことは継続して取り組むべき課題です。研究指定校において、児童の読解力の経年分析を行った結果、その向上が図られていることが確認できていることから、各教科等の授業における指導の工夫が成果を生んでいることと推察します。この成果を羽村市全小・中学校に広げていくために、研究冊子の全校配布にとどまるのではなく、各小・中学校が教育委員会に作成・提出する「届出教育課程」の「指導の重点」といった項目の中で、読解力を育成するための指導の手だてを具体的に明記させるなどして、各学校における実践的な指導の展開につなげていくような取組の工夫を期待します。

No. 7 ICT 機器を活用した教育の推進（ICT 機器の活用による多様な子供たちの個別最適化した学習の取組）

GIGA スクールサポーターの配置と一人一台端末の配備により、個別最適な学びを行うに当たっての環境を整備することができました。また、「学習支援ドリル」のアプリも導入することで、児童・生徒の学習の理解度や進度に応じた学びができる環境も整いました。

次の段階としては、各学校において「学習支援ドリル」を活用した学びがどの程度行われているのか、さらには、どのような取組が行われているのかなど、ソフト面での充実が求められます。そのために、教育委員会としても、各学校の「学習支援ドリル」の活用状況について把握するとともに、各学校の活用の取組も共有する機会を意図的につくり、児童・生徒の学習の理解度や進度に応じた学びの充実を図っていくような取組の工夫を期待します。

No. 9 特別支援教育の推進体制の整備（介助員、支援員の配置及び専門職を活用した就学、転学相談）

令和4年度における就学相談員の就学・転学相談件数の71件のなかで、アンケートを提出した相談者からの肯定的な回答が96.1%という結果から、就学相談員のきめ細かい聞き取りと相談者に対する寄り添った対応を推進していることが伺えます。今後、さらに相談内容が一層多様化してくることが考えられるため、相談事案とその対応の仕方について就学相談員のなかで共有化することを大切にするとともに、就学・転学先となる関係学校や関係機関との連携をより一層図っていただき、適切な就学・転学を進めていっていただきたいです。

No. 11 教育相談体制の充実（不登校等の未然防止・早期対応に向けた教育相談体制の充実）

児童・生徒の不登校につながるような心の不安定さや家庭でのヤングケアラーなどの問題など、早期発見し、早期対応していくことは、児童・生徒の健全育成を図り、ひいては羽村市の未来を担う人材育成につなげていくためにも重要な課題です。そのため、配備された一人一台端末を活用して「心のアンケート」を実施し、早期発見・早期対応をしてい

く取組は素晴らしいです。また、アンケートの実施時期を7月にし、その分析結果を8月に学校に戻すことで、9月から始まる学校生活において早期に対応していくことができます。

さらに、この取組に加えて、特に対応を要する児童・生徒に対するその後の見取りや継続相談などを具体的に行っていくシステムを構築することが重要です。また、新年度に、児童・生徒が学校生活を円滑にスタートさせるための学校体制を整えるためにも、「心のアンケート」の実施時期を2月頃にも設定し、3月にはその分析結果を学校に戻すなどの取組も必要ではないかと考えます。

2 地域資源の活用

No. 16 図書館ボランティアの育成と支援（図書館ボランティア事業の実施、図書館ボランティア養成講座の実施）

「読書手帳」「読書手帳表彰」「家読（うちどく）事業」等、生涯学習の推進・充実の観点から市民の読書習慣の形成に力を入れている事業があり素晴らしいです。その事業を支えていくためには、市民による図書館ボランティアの養成を意図的・計画的に行っていくことが求められ、令和4年度は8人の参加者があったとのこと。今後も、図書館ボランティアの人数を増やしていくとともに、市内の小・中学校において「読み聞かせ」や「ブックトーク」などの出前授業を行うなど、学校と連携して活動を広げていってほしいと思います。

令和4年度は、学校への「読み聞かせ」は、低学年を対象に小学校7校で実施したとのことでしたが、低学年のみならず、他学年の児童や中学校の生徒を対象に、児童・生徒の読書習慣を形成するための取組の工夫をしていただきたいです。

No. 19 生涯学習に関係する資格等の情報提供（市公式サイトでの情報発信、資格認証制度の相談受付）

この事業は、羽村市の生涯学習を持続可能なものにしていくためにも、多くの市民に「社会福祉士」や「生涯学習コーディネーター」としての資格認定を受ける制度があることを周知し、資格取得を目指す人材を徐々に増やしていく取組は重要なことであると考えます。令和4年度は、「資格認定制度に係る情報収集が不十分であったため、記事の掲載に至らなかった。」とのことで、達成度評価「D」となっています。こうした取組は、すぐに結果が出るものではありませんが、まずは具体的な情報収集を行い、広報や市の公式サイト等を活用して市民に適切に情報発信する取組を続けていくことを期待しています。

3 多様な学習の展開

No. 37 読書手帳の活用（読書手帳・よむちよの活用）

No. 16【図書館ボランティアの育成と支援】でも触れましたが、この事業は生涯学習の推進・充実の観点からも市民の読書習慣の形成に資する重要な取組です。令和4年度の「読書手帳表彰者」は14人となっており、目標人数として設定した8人を上回る成果がでており、達成度評価「A」となっていることは喜ばしいことです。このことから、平成28年度3月に本事業をスタートさせて以降、この取組が市民に着実に浸透してきていることが伺えます。

また、令和4年度においては、中学生と高校生の受賞者が初めて5人誕生し、その裾野も広がりつつあります。この「読書手帳」は、小・中学校の入学時に1年生の児童・生徒に配布されることから、学校と連携しながら教育活動における日常的な読書活動においても「読書手帳」を活用していく取組を工夫し、児童・生徒の読書の習慣化を図るとともに、No. 4の「読解力の育成」にもつなげていってほしいです。

No. 39 家読（うちどく）事業等の実施（「家読（うちどく）」の推進、ブックスタート事業の実施）

ブックスタート事業は、絵本を通して、親子が言葉と心を通わすかけがえのないひとときをもつことを応援する事業です。親が乳幼児を優しく抱いて、肌のぬくもりを伝えながら優しい言葉で語りかけることが、子供の豊かな心を育みます。また、毎日、子育てに追われている親にとっても、心の安らぎのひとときになり、読み聞かせを通して、子供とふれあい、親子の絆を深めることもできます。そのような意義ある事業ですが、令和4年度の達成度評価「C」という結果でした。

例えば、セカンドブックスタートの啓発パンフレットを配布するだけではなく、図書館に借りに行かなくても、絵本を受け取ることができるよう、図書館司書が選定した「絵本」を数冊パッケージにして、幼稚園や保育所でも親が受け取れるシステムを構築するなど、子育て中の親が絵本を気軽に借りて読み聞かせができるような工夫を考えていただきたいです。

また、No. 39【読書手帳の活用】と関連を図り、ブックスタート事業においても、乳幼児版の読書手帳として、例えば「絵本読み聞かせ手帳」を導入するような工夫をしていただけると、「乳幼児期」から「高齢期」というライフステージを通して、市民の読書習慣の形成を図るという一貫性のある事業の展開ができると考えます。

4 生涯学習の支援

No. 49 団体等の活動情報の収集・提供（市民活動団体ガイド、団体・サークルガイドの発行（年1回）・配布）

ガイドブックに登録されている市民活動団体は149団体、サークル団体は164団体と、数多くの活動団体があることは、市民に生涯学習の場を提供するとともに、市民意識を高めていくためにも素晴らしいことです。また、ガイドブックを年1回発行し、地域振興課、市役所総合案内所、図書館等で市民に配布をするとともに、市公式サイトでも公開していることは評価できることです。さらに、市の広報紙等にも二次元コードを掲載するなどして、これらの情報を市民が簡単に入手できるような工夫も考えていただきたいです。

No. 52 生涯学習まちづくり出前講座の活用促進（出前講座メニューの案内の発行（年1回）及び「はむらの教育」への紹介記事掲載（年1回））

市民のまちづくりへの関心を高め、社会参画意識を育てていくためにも、市や関係機関の制度の理解を促していくことが重要です。そのため、市職員の専門的な知識を生かして市民主催の学習会で講演するなどの取組を充実させていくことで、令和4年度の達成度評価が「B」のところを「A」になるように努力していただきたいです。特に、市民がこうした内容について学びの機会をつくっていただけるよう、自治会単位で「出前講座」を開催す

るなどの動きができるよう、自治会の回覧板等を用いて出前講座の案内をするなど、その啓発に力を入れていくことを期待しています。

次に、今回の意見を述べるに当たり、実施事業の「達成度評価」に関わる「目標(指標)」の設定の仕方について考えたことを述べます。

例えば、No. 18【学校支援地域本部の活用】では、目標(指標)が「コーディネーターの配置 中学校区 各1人」となっており、コーディネーターを各中学校区に配置ができたことで達成度評価が「A」となっています。これは、配置ができたかどうかという観点から目標(指標)を設定していますが、大切なことは、配置したコーディネーターが学校での教育活動をどの程度コーディネートして、円滑な運営をどの程度サポートできたのかということを目標(指標)に据えていくことだと考えます。それによって、コーディネーターだけでなく、コーディネーターを活用する学校側の意識も高まっていきます。この場合でしたら、学校はコーディネーターと連携して行う教育活動をどの程度実施することができたのかという、目標(指標)を設定することが考えられます。

このように、令和4年度の事務事業における目標(指標)を見てみると、「何人配置」「何回掲載」「何冊配布」などのような目標(指標)を設定しているものがいくつかあります。今後は、そのような評価指標とともに、事業の成果や効果といったことを評価することにつながるような目標(指標)の設定も考えていただくことを期待しています。

八木橋 宏 勇 (杏林大学外国語学部 准教授)

本点検及び評価の対象となる事業は、令和4年度に実施された55の事務事業です。当該年度は、猖獗を極めた新型コロナウイルス感染症の影響をなお受けつつも、ポストコロナへの移行を模索する過渡期にあたり、各事務事業の展開にはきめ細やかな企画・立案及び感染リスクへの配慮等が必要であったと推察されます。そのような中、令和3年度の41事業に比して、14件増の55事業がおおむね順調に展開されたことは、大きく評価されるべきことと考えます。

令和4年度の本報告書には、羽村市教育委員会「教育目標」を実現するため、「羽村市教育委員会の基本方針」を基に定められた4つの「基本施策」が方向性1-4として掲げられています。

以下、4つの方向性ごとにいくつかの事務事業について意見を述べます。

1 子どもたちの育成

No. 1 子育て関係講座等の充実

この事業では、「子育て講座」（1回目：2～3歳対象、2回目：4～5歳対象）と「家庭教育セミナー」が実施されました。前者は、各回12組の定員に対し、1回目は10組、2回目は8組の参加があり、参加者の満足度は94%でした（達成度はA評価）。後者は定員252人に対し実参加者は130人で、参加者の満足度は72%でした（達成度はB評価）。本点検及び評価において、各事業の達成度は「参加者の満足度」を主な指標にしているとのことでしたが、一般的に参加者が多くなればなるほど、その評価に揺れが観察される割合が高まりますので、結果として評価は反比例する傾向にあります。数字で示されたものは評価しやすいものの、事業内容そのものの質的評価にはまた別の指標が必要であると考えられます。ニーズを的確に把握し、数字には表れにくい課題点・反省点を拾い上げ、今後はA評価事業となるよう期待します。

No. 9 特別支援教育推進体制の整備

本事業は「全ての学校・学級に特別な指導・支援を必要とする児童・生徒が在籍すると認識のもと、一人一人の児童・生徒が安心して豊かに学べる教育環境を整備し、特別支援教育体制を充実する」ため、介助員・支援員の配置及び専門職を活用した就学・転学相談の充実を企図して実施されました。介助員・支援員の適正な配置に加え、相談者のアンケートでは肯定的な回答が96.1%と高い評価を得ており、相談者に寄り添った的確な事業進捗が図られたことは大いに評価されるべきと考えます。一方で、コロナ禍の影響により、従来とは異なる支援が求められる事例、十分な支援を提供できず相談が中断してしまう事例などを精査し、実質的な成果をより高められるよう努めていただければと思います。

2 地域資源の活用

No. 15 人材バンク登録制度の活用

本事業は、学ぶ意欲のある市民と、生涯学習に関する特技や技能、知識などを提供したいという人材をつなぐ取組です。双方にとって、生きがい創出・健康寿命の延伸の機会と

もなり得るため、本制度がより活用されるよう、過去の活用事例の紹介も含め、市民や市内各団体により積極的に情報提供をされることが望まれます。

No. 23 登録郷土研究員の活用

歴史講座の講師、郷土博物館企画展への協力等、郷土史を調査・研究・発信する信頼に足る人材の確保は、地域の記録、地域の教育、地域の情報発信に資する重要課題であると思われます。一方で、社会的に意識が高まっている研究倫理の遵守は、郷土博物館の信用にも関わるため適切な対応が求められているほか、現在400円で販売されている『羽村市郷土博物館紀要』は、(一般的に紀要類も電子化される傾向にあるため)リポジトリ化を検討して良い時期だと思われます。引き継ぐべきことは引き継ぎながらも、持続的な郷土研究及びその成果の発信に向け、時代の流れに即した検討を重ね、課題克服を目指していただければと思います。

3 多様な学習の展開

No. 37 読書手帳の活用

本事業は、読書活動の習慣化を図る動機づけとして、読書手帳の配布及び読書手帳表彰を行うものであり、市民の持続的な読書意欲を喚起させることに寄与する取組です。読書手帳表彰者は増加傾向が続き、令和4年度には初めて中学生・高校生の受賞者が誕生するなど、着実な成果を挙げている点は高く評価できます。本事業は、小学生、中学生、高校生そして一般と、幅広い層を対象としていることから、世代ごとに継続しやすい記録の仕方(たとえば、アプリを活用した電子記録など)に工夫があれば、さらに成果を積み重ねられるのではないかと考えられました。図書館利用の活性化にも資する取組であり、本事業のさらなる進展を期待いたします。

4 生涯学習の支援

No. 52 生涯学習まちづくり出前講座の活用促進

まちづくり出前講座は、市役所編(行財政運営や議会、選挙、子ども・子育て、健康、スポーツ、生活・環境、福祉、教育・生涯学習、自然・歴史・文化など)と官公署等編(警視庁福生警察署、東京消防庁福生消防署(羽村出張所)、羽村市地域包括支援センター、東京都行政書士会(多摩西部支部)、東京地方検察庁(立川支部)、青梅税務署、東京都金融広報委員会、関東財務局東京財務事務所(立川出張所)、東京都西多摩保健所、東京保護観察所(立川支部))のもとに多様な講座が用意されており、市や官公署等の職員が講師として出向く取組です。令和4年度の利用回数は9回で、各講師の専門性を生かした講座が展開されたことと拝察しています。目標の12回には及んでいませんが、地域のグループや町内会、各種団体などの要望を聞き、講座内容の精査とさらなる充実化を図ることにより市民のニーズに応えられると考えられます。

また、本講座の受講対象となっている羽村市在勤・在学者は、近隣自治体に居住している可能性もあることから、市民向け広報のほか、各団体・企業・学校、さらには近隣自治体など、活用促進に向けた広報を手広く展開し、A評価事業にまで高めていきたいと思っております。

以上、6つの事務事業について意見を述べましたが、全体に関わる「広報」と「事業の体系性」について触れておきたいと思います。

主たる広報は、市が発行する媒体、市関連施設等の掲示板、市の公式サイトで行われています。いずれも市民の意識的に情報を得ようとする姿勢に委ねられた方法であり、情報の利便性及び拡散性においてさらなる工夫が求められていると思います。たとえば、「子育て講座」や「家庭教育セミナー」等、比較的若い世代を対象とする事業に関しては、スマートフォンで必要なときに必要な情報に瞬時にアクセスできるよう二次元コードを活用し、参加申し込みまでワンストップで済ませることができる手軽さが求められていると考えられます。また、SNSのアカウントを用意して情報発信を開始した取組もありますが、開設するだけではその効果は見込まれませんので、定期的な発信に加え、たとえば羽村市出身・在住のインフルエンサーと協働で拡散に努めるなど、望む結果を手繰り寄せるための活用方法の精査が急務だと言えます。

さらに、本点検・評価の対象となっている事務事業は、いずれも羽村市教育委員会教育目標の達成に必要な取組であることは確かですが、「個々の事業が単発の取組に終始していないか」、「個々の事業が羽村市教育委員会の目標達成にどれほど寄与したか」を自律的に検証し、今後の施策に反映させていく仕組みの整備も重要であると考えられます。これにより、個々の事務事業がその範囲にとどまることを回避し、他の事業と有機的に関連付けられることにより、その成果・効果が全体的な評価へと昇華させられることが期待されます。

令和4年度の意欲的な取組を基盤に、ポストコロナという時代の変化に柔軟に対応する視座を持ちながら、さらに評価（達成度）を高められるよう目指していただきたいと強く願うところです。

5 教育委員会の活動の状況
教育委員会の審議事項等

区分（議：議案 協：協議 報：諸報告等）

会議名	開催日		審議事項等
令和4年第6回 教育委員会 (定例会)	令和4年4月19日	議 報 報 報	専決処分の承認を求めることについて 〔羽村市図書館協議会委員の委嘱について〕 羽村市教育委員会共催・後援申請事業について 教育長報告 教育委員会委員活動報告
令和4年第7回 教育委員会 (定例会)	令和4年5月17日	議 議 議 議 議 報 報 報 報	専決処分の承認を求めることについて 〔羽村市立学校学校医の委嘱について〕 はむらの学校教育について 羽村市立公園条例の一部を改正する等の条例に係る意見聴取について 羽村市教育委員会会計年度任用職員の任用に関する規程の一部を改正する規程 羽村市特別支援教育就学支援委員会委員の委嘱及び任命について 羽村市スポーツ推進審議会委員の委嘱について 令和5年度使用羽村市立小・中学校特別支援学級教科用図書の採択事務について 羽村市図書館三分室の廃止について 教育長報告 教育委員会委員活動報告
令和4年第8回 教育委員会 (定例会)	令和4年6月21日	議 議 議 報 報 報	専決処分の承認を求めることについて 〔令和4年度羽村市一般会計補正予算（第1号）のうち教育費に係る部分の意見聴取について〕 令和4年度羽村市一般会計補正予算（第2号）のうち教育費に係る部分の意見聴取について 羽村市立小・中学校評議員会委員の委嘱について 令和2年度羽村市図書館評価について 教育長報告 教育委員会委員活動報告
令和4年第9回 教育委員会 (定例会)	令和4年7月19日	議 議 報 報	羽村市公立学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則 羽村市堰下レクリエーション広場条例施行規則を廃止する規則 教育長報告 教育委員会委員活動報告

会議名	開催日		審議事項等
令和4年第10回 教育委員会 (定例会)	令和4年8月16日	議 議 議 報 報	令和4年度羽村市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について 令和4年度羽村市一般会計補正予算(第3号)のうち教育費に係る部分の意見聴取について 令和5年度使用小・中学校特別支援学級教科用図書の採択について 教育長報告 教育委員会委員活動報告
令和4年第11回 教育委員会 (定例会)	令和4年9月14日	報 報 報	令和4年度羽村市一般会計補正予算(第3号)のうち教育費に係る部分の修正について 教育長報告 教育委員会委員活動報告
令和4年第12回 教育委員会 (定例会)	令和4年10月18日	議 報 報 報	専決処分の承認を求めることについて 〔教育委員会職員の人事について〕 教育委員会へ提出された陳情等について 教育長報告 教育委員会委員活動報告
令和4年第13回 教育委員会 (定例会)	令和4年11月15日	議 議 報 報 報	専決処分の承認を求めることについて 〔教育委員会職員の人事について〕 令和4年度羽村市一般会計補正予算(第5号)のうち教育費に係る部分の意見聴取について 令和5年羽村市二十歳のつどいについて 教育長報告 教育委員会委員活動報告
令和4年第14回 教育委員会 (定例会)	令和4年12月20日	議 議 報 報	羽村市教育委員会事務決裁規程の一部を改正する規程 令和4年度羽村市一般会計補正予算(第6号)のうち教育費に係る部分の意見聴取について 教育長報告 教育委員会委員活動報告
令和5年第1回 教育委員会 (定例会)	令和5年1月17日	議 報 報 報	専決処分の承認を求めることについて 〔令和4年度羽村市一般会計補正予算(第7号)のうち教育費に係る部分の意見聴取について〕 教育委員会へ提出された陳情等について 教育長報告 教育委員会委員活動報告

会議名	開催日		審議事項等
令和5年第2回 教育委員会 (臨時会)	令和5年2月7日	議 議	羽村市立小中学校管理職の人事について 教育委員会委員の辞職の同意について
令和5年第3回 教育委員会 (定例会)	令和5年2月21日	議 議 議 議 議 報 報 報	令和5年度羽村市教育委員会の教育目標について 令和5年度羽村市一般会計予算のうち教育費に係る部分の意見聴取について 羽村市いじめ防止対策推進条例の制定に係る意見聴取について 羽村市立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則 令和4年度羽村市一般会計補正予算(第8号)のうち教育費に係る部分の意見聴取について 第六次羽村市長期総合計画 前期基本計画 令和5年度実施計画・予算(概要説明)について 教育長報告 教育委員会委員活動報告
令和5年第4回 教育委員会 (定例会)	令和5年3月28日	議 議 議 議 議 報 報 報	羽村市教育委員会いじめ問題対策委員会規則 羽村市教育委員会いじめ問題対策連絡協議会規則 羽村市教育委員会表彰規程の一部を改正する規程規定の一部を改正する規程 羽村市立学校職員の兼業等及び教育公務員の教育に関する兼職等に関する事務取扱規程の一部を改正する規程 羽村市立学校学校医・学校歯科医・学校薬剤師の委嘱について 教育委員会職員等の人事について 令和3年度羽村市図書館評価について 教育長報告 教育委員会委員活動報告

教育委員会委員の主な活動報告

年月	活動内容	会場
令和4年4月	理事者、教育委員会委員及び教育委員会管理職と 学校管理職との顔合わせ式 主幹教諭、主任教諭及び教職員等辞令伝達式 教育長訓示（学校管理職対象） 新規採用教職員辞令伝達式 小学校入学式 中学校入学式 第6回教育委員会（定例会） 羽村・瑞穂地区学校給食組合教育委員会（定例会） 東京都教育施策連絡協議会【オンデマンド配信】	特別会議室 大会議室 大会議室 特別会議室 各小学校 各中学校 特別会議室 第2給食センター
令和4年5月	東京都市町村教育委員会連合会第66回定期総会【書面開催】 第7回教育委員会（定例会） 羽村市体育協会通常総会 羽村市文化協会総会	特別会議室 ゆとろぎ小ホール ゆとろぎ小ホール
令和4年6月	教育委員会学校訪問① 羽村第二中学校創立50周年記念式典 教育委員会学校訪問② 関東甲信越静市町村教育委員会連合会総会及び研修会【書面表決】 第8回教育委員会（定例会） 教育委員会学校訪問③ 羽村・瑞穂地区学校給食組合教育委員会（定例会） 教育委員会学校訪問④	羽村第一中学校 羽村第二中学校 羽村西小学校 特別会議室 武蔵野小学校 第2給食センター 小作台小学校
令和4年7月	教育委員会学校訪問⑤ 第7回HAMURAメリーリボン演劇祭 第7回HAMURAメリーリボン演劇祭 第9回教育委員会（定例会） 東京都市教育長会研修会 学校マネジメント講座Ⅱ（第2回）講義・演習	羽村第三中学校 ゆとろぎ小ホール ゆとろぎ小ホール 特別会議室 東京自治会館 204会議室
令和4年8月	第10回教育委員会（定例会） 東京都市町村教育委員会連合会理事会【書面開催】	特別会議室
令和4年9月	第11回教育委員会（定例会） 佐々蔚先生秋彼岸お墓参り 教育委員会学校訪問⑥ 羽村・瑞穂地区学校給食組合教育委員会	特別会議室 富士見霊園 栄小学校 第2学校給食センター

年月	活動内容	会場
令和4年10月	羽村市青少年問題協議会 教育委員会学校訪問⑦ 羽村市文化祭開会式 東京都市町村教育委員会連合会第1回研修会 羽村・瑞穂地区学校給食組合議会議員等視察 教育委員会学校訪問⑧ 栄小学校創立50周年記念式典 第12回教育委員会（定例会）	特別会議室 富士見小学校 ゆとろぎ小ホール 【オンライン研修】 秦野市学校給食センター 羽村第二中学校 栄小学校 特別会議室
令和4年11月	教育委員会学校訪問⑨ 青少年健全育成の日 青少年健全育成の集い 第13回教育委員会（定例会） 教育委員会学校訪問⑩	羽村東小学校 ゆとろぎ 特別会議室 松林小学校
令和4年12月	子どもからの人権メッセージ発表会in羽村 東京都市町村教育委員会連合会第4ブロック研修会 教育研究指定校研究発表会 第14回教育委員会（定例会） 第1回羽村市総合教育会議	ゆとろぎ TOKYO GLOBAL GATEWAY立川 武蔵野小学校 特別会議室 特別会議室
令和5年1月	どんど焼き 羽村市二十歳のつどい 東京都市町村教育委員会連合会理事会・理事研修会 第1回教育委員会（定例会） 家庭教育セミナー 羽村・瑞穂地区学校給食組合教育委員会（定例会）	宮の下運動公園横 ゆとろぎ 東京自治会館 特別会議室 ゆとろぎ 第2学校給食センター
令和5年2月	東京都市町村教育委員会連合会第2ブロック研修会 第2回教育委員会（臨時会） 第3回教育委員会（定例会） コミュニティ・スクールに関する研修会 東京都市町村教育委員会連合会第2回研修会	町田市民フォーラム 特別会議室 特別会議室 ゆとろぎ 東京自治会館
令和5年3月	羽村市教育委員会表彰 第41回羽村市駅伝大会 中学校卒業式 佐々蔚先生春彼岸お墓参り 小学校卒業式 第4回教育委員会（定例会）	ゆとろぎ 富士見公園 各中学校 富士見霊園 各小学校 特別会議室

教育委員会学校訪問

年月日	学校名	訪問内容	主な出席者
令和4年6月1日(水)	羽村第一中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・学校概要説明 ・授業参観(施設見学を含む) ・学校管理職との懇談会 ・給食指導見学・給食試食は1校のみ実施(羽村第二中学校) 	教育長 教育委員会委員 教育委員会職員
6月17日(金)	羽村西小学校		
6月22日(水)	武蔵野小学校		
6月28日(火)	小作台小学校		
7月8日(金)	羽村第三中学校		
9月28日(水)	栄小学校		
10月6日(木)	富士見小学校		
10月13日(木)	羽村第二中学校		
11月11日(金)	羽村東小学校		
11月18日(金)	松林小学校		

資 料 編

1 根拠法令等

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

昭和31年法律162号

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

（平成20年4月1日施行）

（平成27年4月1日改正）

羽村市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第26条の規定に基づき、羽村市教育委員会(以下「教育委員会」という。)が自らの権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価(以下「点検・評価」という。)を実施するために必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2条 この要綱において次の各号に掲げる用語の意義は、それぞれ当該各号の定めるところとする。

- (1) 点検 個々の施策及び事業のこれまでの取組状況や成果について取りまとめることをいう。
- (2) 評価 個々の施策及び事業についての点検を踏まえ課題を検討するとともに、今後の取組の方向性を示すことをいう。

(対象)

第3条 点検・評価の対象は、毎年度策定する「羽村市教育委員会の教育目標」に定められた基本方針に基づく主要施策及び事業とする。

(点検・評価の実施)

第4条 点検・評価は、前条に規定する主要施策及び事業について毎年1回実施するものとする。

- 2 点検・評価を行うにあたっては、教育に関し学識経験を有する者(以下「学識経験者」という。)の知見の活用を図るものとする。
- 3 前項に規定する知見の活用にあたっては、主要施策及び事業の進捗状況等を取りまとめ、学識経験者の意見を聴取する機会を設けるものとする。
- 4 教育委員会において点検・評価を行った後、その結果を取りまとめた報告書を作成し、羽村市議会へ提出する。この場合において、報告書は公表するものとする。

(点検・評価に関する有識者の設置)

第5条 前条第2項に規定する学識経験者の知見の活用を図るため、「点検・評価に関する有識者」（以下「有識者」という。）を置く。

2 有識者は、2人とする。

3 有識者は、教育委員会が依頼し、任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

4 有識者が欠けた場合における補欠の有識者の任期は、前任者の残任期間とする。

5 有識者に対して、予算の範囲内で謝礼を支払うものとする。

（庶務）

第6条 点検・評価に関する庶務は、教育委員会に関する事務を所掌する課において処理する。

（委任）

第7条 この要綱に定めるもののほか必要な事項は、教育長が別に定める。

付 則

この要綱は、平成20年11月1日から施行する。

付 則

（施行期日）

1 この要綱は、平成27年6月5日から施行する。

（経過措置）

2 この規程の施行の際現に在職する教育長が地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律（平成26年法律第76号。以下「改正法」という。）附則第2条第1項の場合においては、改正後の要綱の規定は適用せず、改正前の要綱の規定は、なおその効力を有する。

発行 羽村市教育委員会

編集 生涯学習部生涯学習総務課

〒205-8601

東京都羽村市緑ヶ丘5-2-1

TEL 042-555-1111

FAX 042-578-0131

URL <http://www.city.hamura.tokyo.jp/>